

# 手順編

0.エンドパネル(オプション) ▶24	8.セットタンク ▶43
1.壁掛大便器スタンド ▶25	9.ウォシュレット ▶46
2.止水栓 ▶27	10.前板(上) ▶48
3.壁側板(手洗器設置側) ▶33	11.棚板・ タンク上収納底板用アングル材 ▶49
4.排水接続管 ▶34	12.扉 ▶51
5.コアキャビネット ▶37	13.固定扉・天板 ▶53
6.大便器 ▶40	
7.タンク接続管 ▶42	

	手洗器サイズ	Mサイズ	Sサイズ
14.手洗器キャビネット・カウンター		▶55	▶67
15.手洗器		▶62	▶75
16.試運転・確認		▶80	
17.流動レバー		▶85	
18.給水フィルターの清掃		▶85	
19.天板		▶86	
20.器具類		▶89	
21.仕上げ		▶90	
引渡し前の点検		▶裏表紙	

## マーク表示について



寒冷地仕様の場合を示します。



電動ドライバー使用禁止です。  
手締めしてください。



下穴をあけてください。  
(例:φ3の場合)



シールテープを  
巻いてください。



カットしてください。



ボードアンカーを  
差し込んでください。



けがき



水平確認



けがき



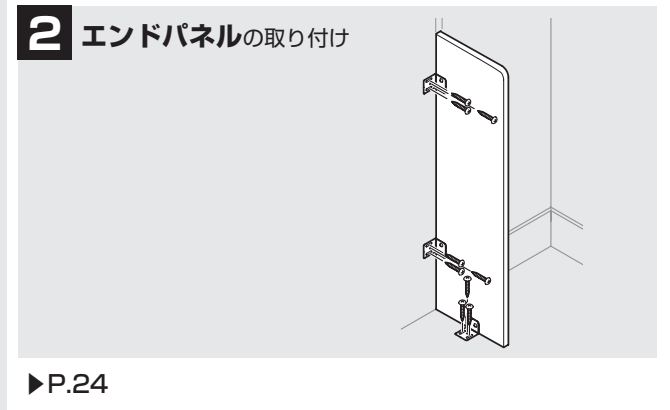
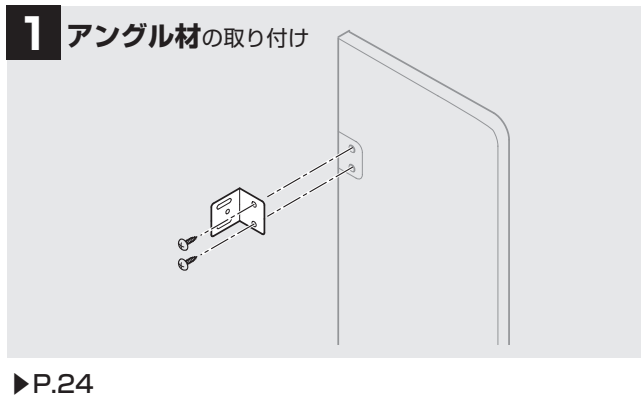
垂直確認

けがきを  
してください。

水平器で水平・垂直確認  
してください。

# 0.エンドパネル(オプション)

【エンドパネルがない場合】  
 P.25「1.壁掛大便器スタンド」から作業してください。

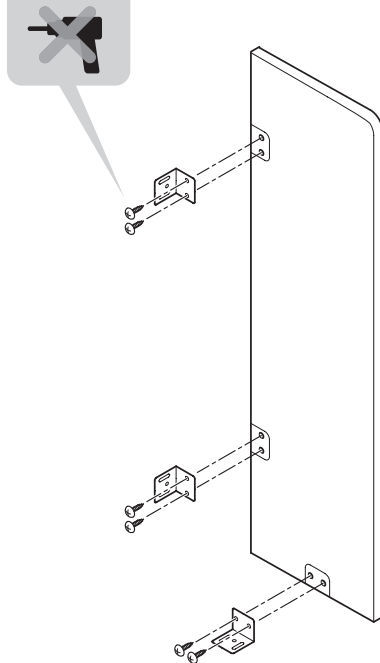


## 1 アングル材の取り付け

**①**

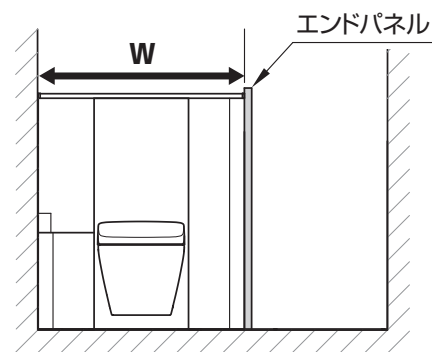
トラストッピンねじ  
 4×12(6本)

手締めで

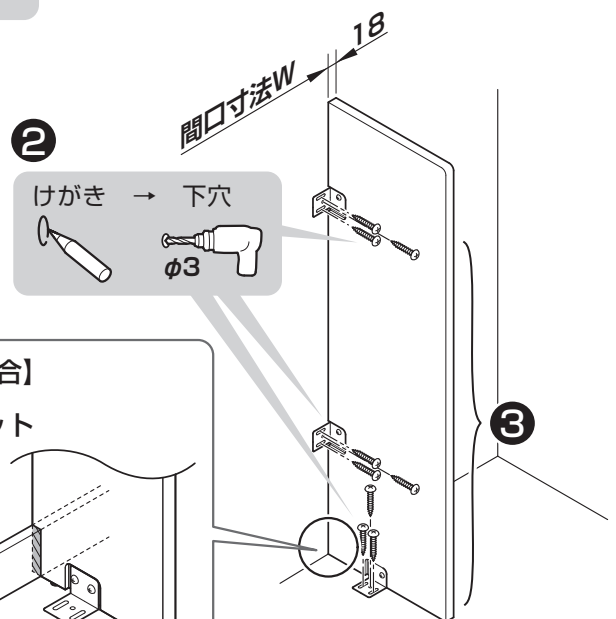


## 2 エンドパネルの取り付け

### 間口寸法Wの測定範囲

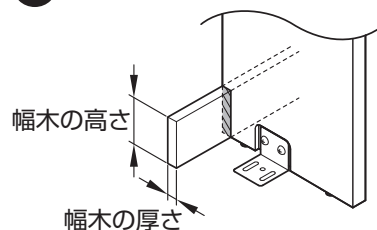


トラストッピンねじ  
 4×30(9本)



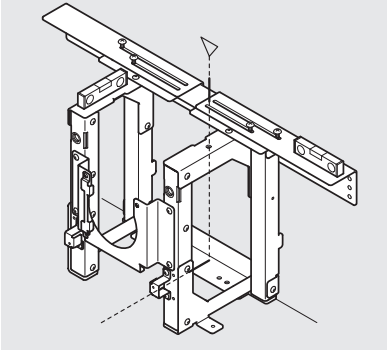
【幅木がある場合】

**①** 幅木分カット



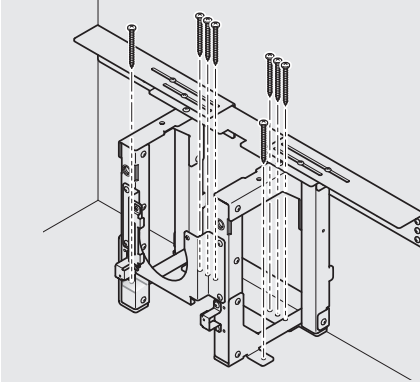
# 1. 壁掛大便器スタンド

## 1 壁掛大便器スタンドの仮設置



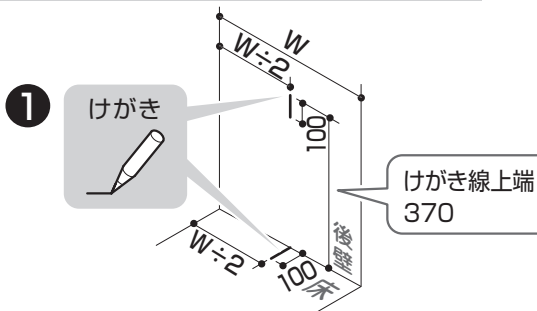
▶ P.25

## 2 壁掛大便器スタンドの固定



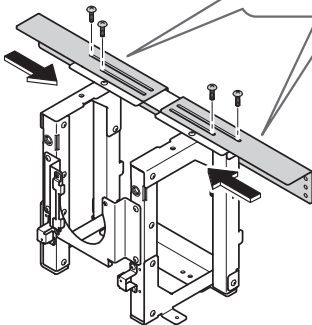
▶ P.25

## 1 壁掛大便器スタンドの仮設置



トラスタッピンねじ  
5×14(各2本)

2 間口調整材を  
中心に寄せて仮固定

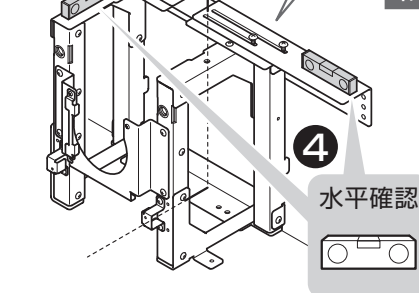


外側の穴

けがき線  
壁掛大便器  
スタンド中心

3 けがき線にあわせて仮置き

傾きが大きい場合



4

水平確認

スペーサー  
(現場手配)

## 2 壁掛大便器スタンドの固定

### ⚠ 注意

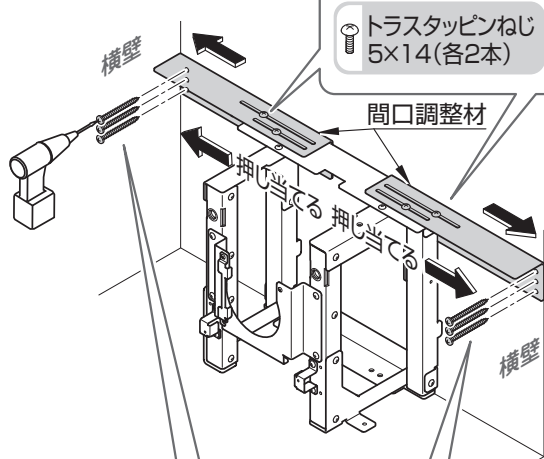


必ず守る

横壁と間口調整材とにすき間が  
あかないようにする  
商品が破損・落下し、けがのおそれがあり  
ます。

2 本固定(左右)

トラスタッピンねじ  
5×14(各2本)



1 (左右)

けがき → 下穴



φ4.5

なベタッピンねじ  
6×50(各3本)

給水新設

既存給水流用

1

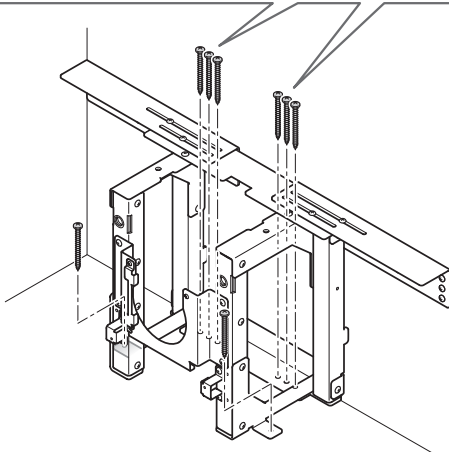
壁掛大便器スタンド

3

けがき → 下穴

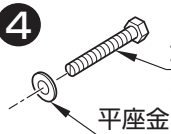


なべタッピンねじ  
6×50(8本)



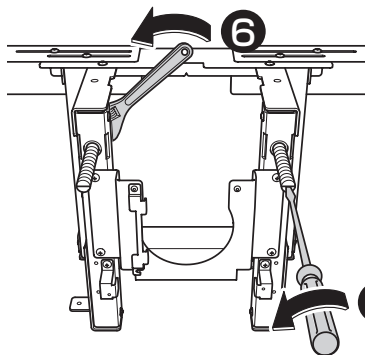
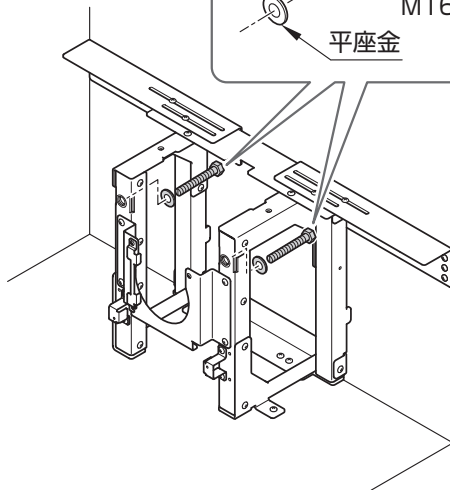
※予備のねじが2本残ります。

4



大便器固定ボルト  
M16×140

平座金



ボルトのすりわり部を  
マイナスドライバーで回して固定

ポイント

大便器固定ボルトの頭部分をスパナなどの  
工具で最後までしっかりと締め付ける。

既存給水流用の場合

7

けがき → 下穴※



止水栓に同梱

310

左横壁

後壁



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



排水方向		A
壁排水	床排水	
	後ろ抜き	85
	右抜き	
	左抜き	170

MEMO



## 2. 止水栓

【給水新設】タイプと【既存給水流用】タイプで施工方法が異なります。商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

2

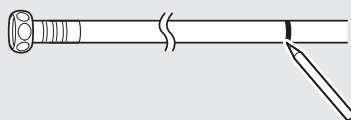
止水栓

### 1 止水栓・分岐金具の取り付け



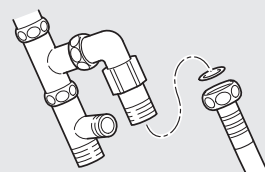
▶ P.27

### 2 ホースクランプ 固定位置マーク付け (フレキホース(手洗器用))



▶ P.28

### 3 フレキホース(手洗器用)の取り付け



▶ P.28

給水新設

既存給水流用

▶ P.29 一般地／流動方式  
▶ P.31 水抜方式

▶ P.29 一般地／流動方式  
▶ P.31 水抜方式

▶ P.30 一般地／流動方式  
▶ P.32 水抜方式

## 給水新設

### 1 止水栓・分岐金具の取り付け

#### ポイント

左右勝手とも取付位置は正面  
向かって左

### ! 注意

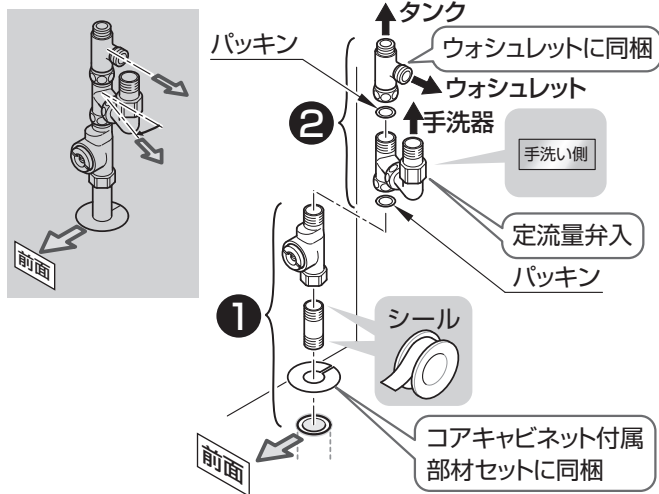


必ず守る

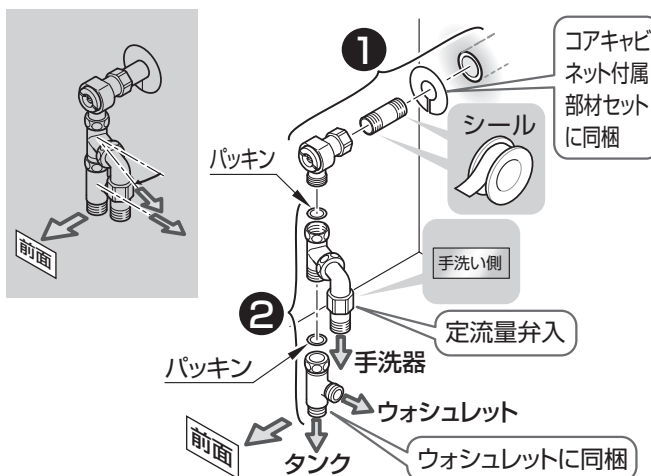
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付ける

設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

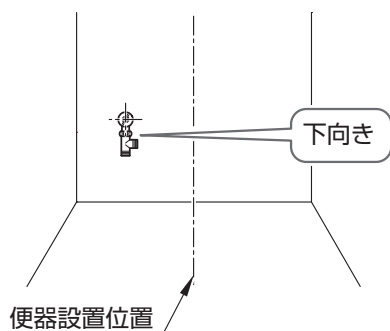
#### 床給水



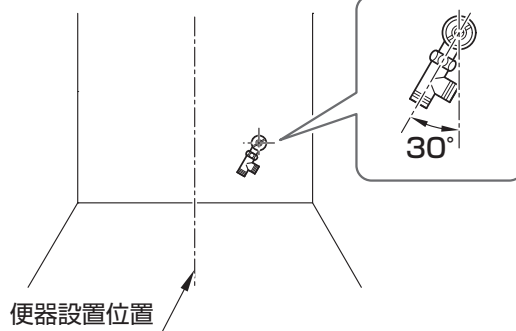
#### 壁給水



【床排水／壁排水 後ろ抜き 右抜きの場合】



【左抜きの場合】

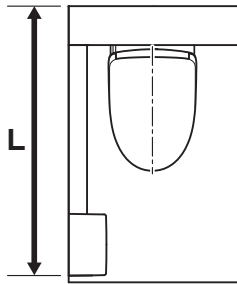


給水新設

既存給水流用

## 2 ホースクランプ固定位置マーク付け (フレキホース(手洗器用))

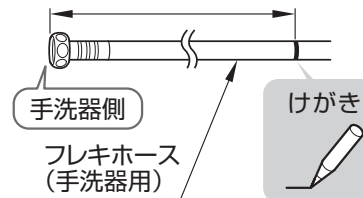
### 奥行寸法Lの測定範囲



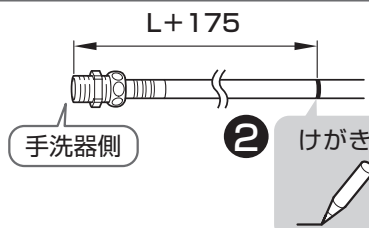
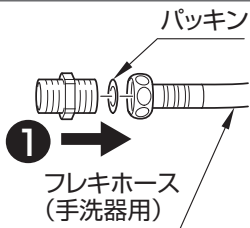
手洗器Mサイズ

手洗器Sサイズ 自動水栓

L+495(手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)  
L+155(手洗器Mサイズ 自動水栓)  
L+155(手洗器Sサイズ 自動水栓)



手洗器Sサイズ ハンドル式水栓

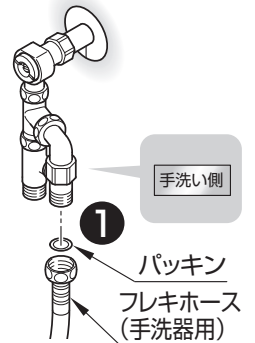
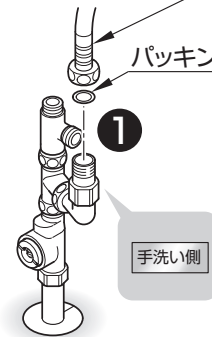


## 3 フレキホース(手洗器用) の取り付け

床給水

壁給水

フレキホース(手洗器用)



② ホースクランプ(カウンターセットに同梱)  
で固定する  
※フレキホース(手洗器用)の  
取り回しは下欄参照

## フレキホース(手洗器用)の取り回し例

### 警告



禁止

ホースは電源プラグ・コンセントの上  
を通したり、電源プラグ・コンセント  
に接触させたりしない  
結露水などにより、電源コンセントに水が  
かかり、火災や感電の原因となります。

全タイプ共通 注意事項・マーク説明

- : ホース固定位置  
(マーク箇所を固定)
- : ホース固定位置  
(任意の箇所を固定)

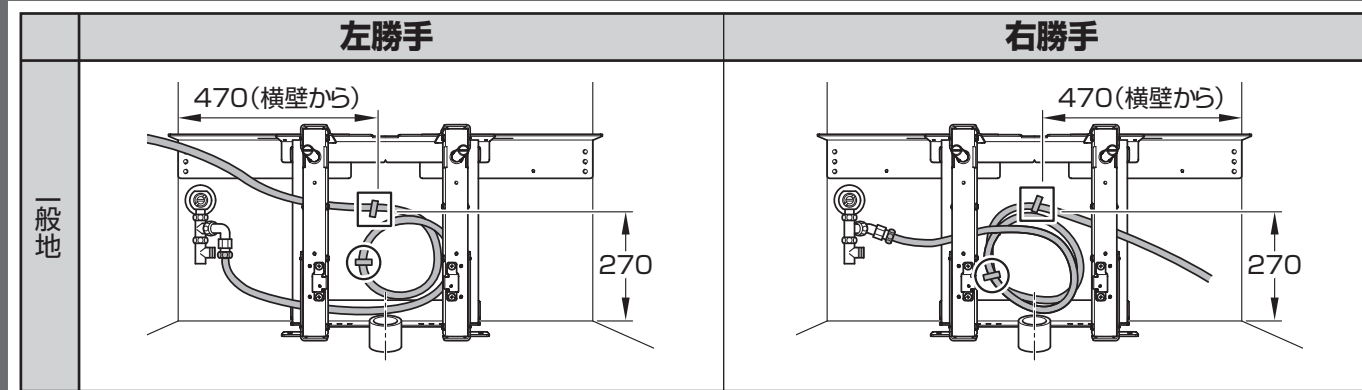
水抜方式の場合

※ホース取り回しは床から175mm  
以上確保してください。  
(水が抜けず、凍結する場合が  
あります)

### 床給水

	左勝手	右勝手
一般地 ／ 流動方式		
水抜方式		

## 壁給水



2

止水栓

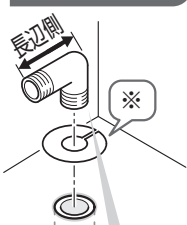
## 既存給水流用 一般地／流動方式

## 1 止水栓・分岐金具の取り付け

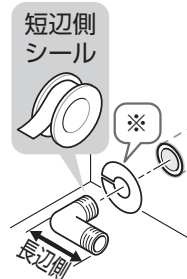
※配管用化粧カバーは「コアキャビネット付属部材セット」に入っています。

1

床給水

短辺側  
シール

壁給水

短辺側  
シール

## ! 注意

! 必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付ける  
設置しただけの場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

なべ小ねじ  
M4×8 (2本)

2

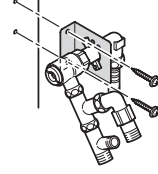


7

座付タッピンねじ  
4.5×38 (2本)

【エンドパネルに壁側板を取り付けている場合】

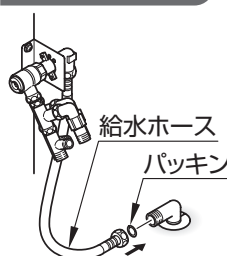
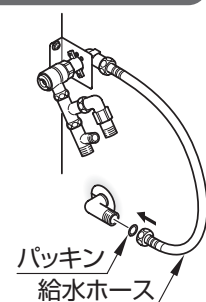
必ず使用

「エンドパネル」に同梱  
トラスタッピンねじ  
4×12 (2本)事前にあけた  
左横壁下穴 (▶P.26)  
に取り付け

8

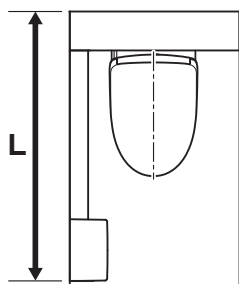
床給水

壁給水

給水ホースの取り回しは  
▶P.30 給水ホース 参照

## 2 ホースクランプ固定位置マーク付け(フレキホース(手洗器用))

## 奥行寸法Lの測定範囲



手洗器Mサイズ

手洗器Sサイズ 自動水栓

L+495(手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)

L+155(手洗器Mサイズ 自動水栓)

L+155(手洗器Sサイズ 自動水栓)



手洗器側

フレキホース  
(手洗器用)

けがき

手洗器Sサイズ ハンドル式水栓

1

パッキン

フレキホース  
(手洗器用)

2

L+175

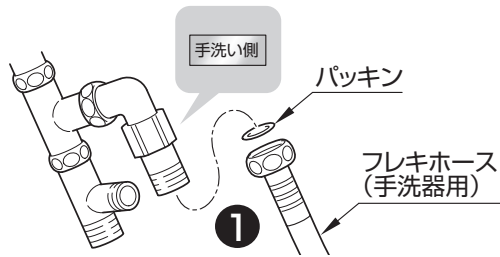
手洗器側

けがき

給水新設

既存給水流用

## 3 フレキホース(手洗器用)の取り付け



2 ホースクランプ(カウンターセットに同梱)で固定する

フレキホース(手洗器用)の取り回しは

▶P.31 フレキホース(手洗器用) 参照



## 給水ホースの取り回し

	給水位置が壁掛大便器 スタンドの左の場合	給水位置が壁掛大便器 スタンドの内部の場合	給水位置が壁掛大便器スタンドの 右の場合
壁給水			
床給水			

## 既存給水流用 一般地／流動方式

## フレキホース(手洗器用)

## 警告



禁止

ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない  
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

□ : ホース固定位置  
(マーク箇所を固定)

○ : ホース固定位置  
(任意の箇所を固定)

	間口寸法750mmの場合	間口寸法960mmの場合
右勝手		
左勝手		

## 既存給水流用 水抜方式

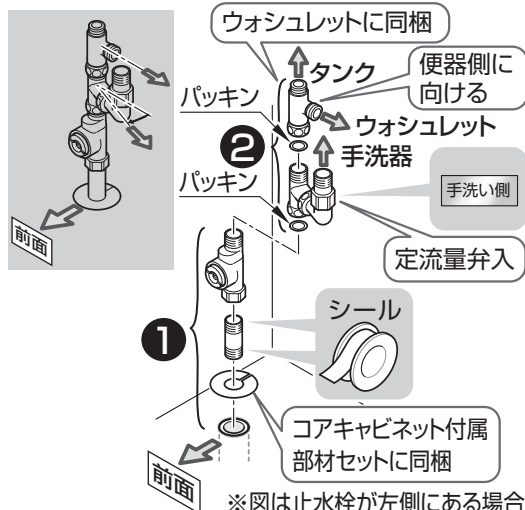
1 止水栓・分岐金具  
の取り付け

## 注意



必ず守る

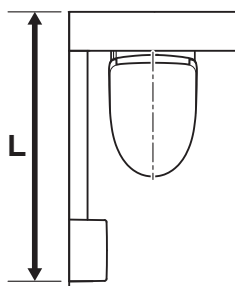
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓  
(フィルター付き)を取り付ける  
設置しただけの場合、フィルターがないため給水  
管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりに  
よる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。



※図は止水栓が左側にある場合

2 ホースクランプ固定位置マーク付け  
(フレキホース(手洗器用))

## 奥行寸法Lの測定範囲



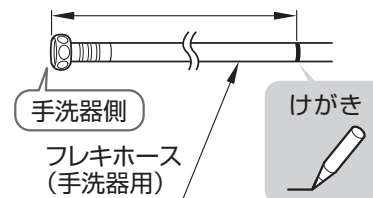
手洗器Mサイズ

手洗器Sサイズ 自動水栓

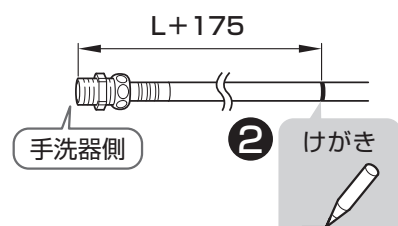
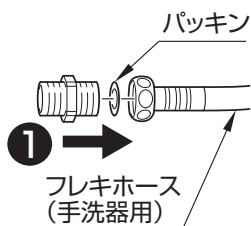
L+495(手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)

L+155(手洗器Mサイズ 自動水栓)

L+155(手洗器Sサイズ 自動水栓)



手洗器Sサイズ ハンドル式水栓

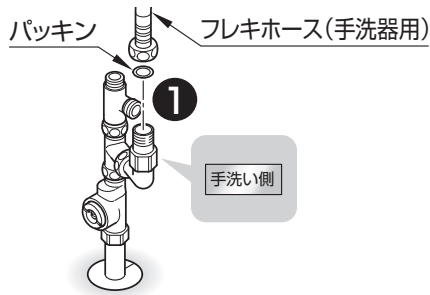




給水新設

既存給水流用

## 3 フレキホース(手洗器用)の取り付け



2 ホースクランプ(カウンターセットに同梱)で固定する  
フレキホース(手洗器用)取り回しは下欄参照



### フレキホース(手洗器用)の取り回し例

□: ホース固定位置  
 (マーク箇所を固定)      ○: ホース固定位置  
 (任意の箇所を固定)

※ホース取り回しは床から175mm以上確保してください。  
(水が抜けず、凍結する場合があります)

### 警告



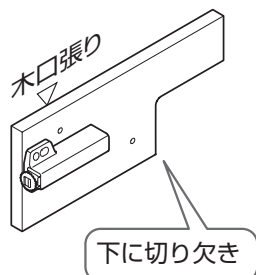
ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、  
電源プラグ・コンセントに接触させたりしない  
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や  
感電の原因となります。

		間口寸法750mmの場合	間口寸法960mmの場合
右勝手 水抜方式	給水が左側		
	給水が右側		
左勝手 水抜方式	給水が左側		
	給水が右側		

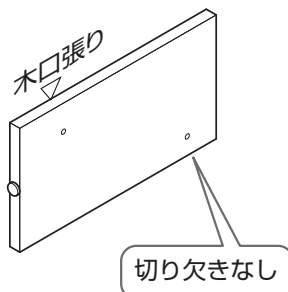
## 3. 壁側板(手洗器設置側)

### 壁側板の種類

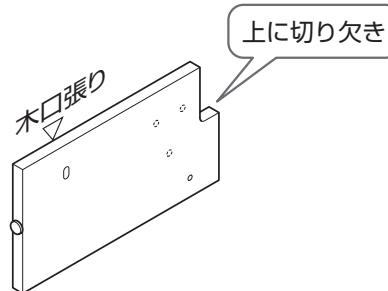
①



②



※まろごと収納タイプの場合に使用



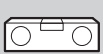
▶ P.38「5. コアキャビネット」

③ 壁側板の取り付けで使用

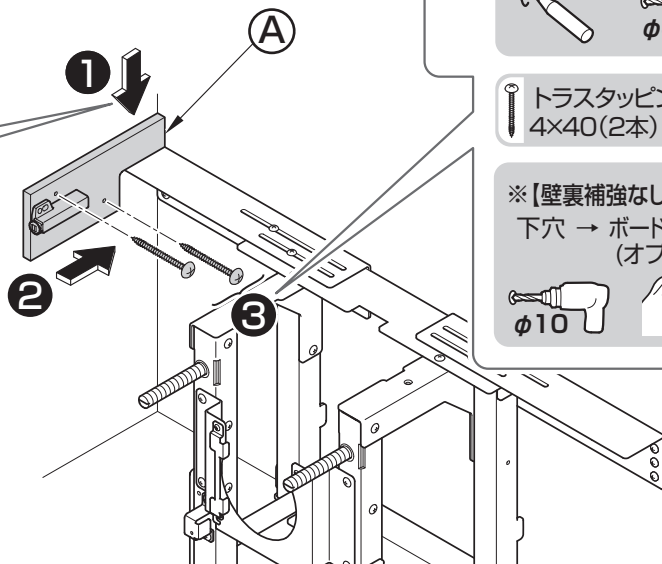
## 1 壁側板(手洗器設置側)の設置

① 壁掛大便器  
スタンドに  
突き当てる

水平確認



② 壁に  
突き当てる



③

けがき → 下穴※



トラスタッピンねじ  
4×40(2本)

※【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



まろごと収納タイプの場合

④



⑤



⑥



⑦

けがき → 下穴※



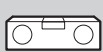
トラスタッピンねじ  
4×40(2本)

※【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



⑤ 壁に  
突き当てる

水平確認

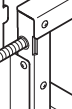


750

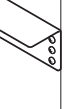
⑧



⑨

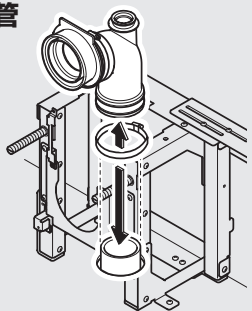


⑩



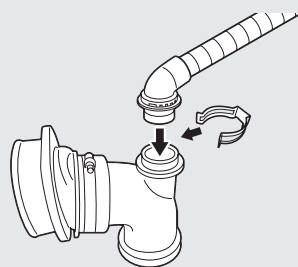
## 4.排水接続管

### 1 排水接続管の取り付け



▶P.34

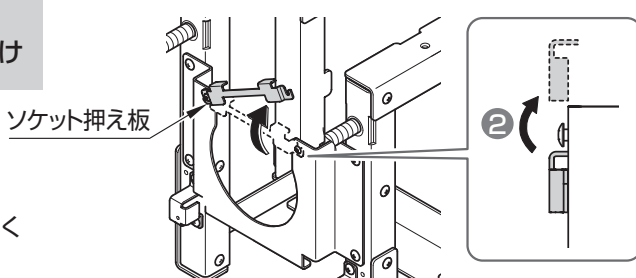
### 2 手洗器用排水ホースの取り付け



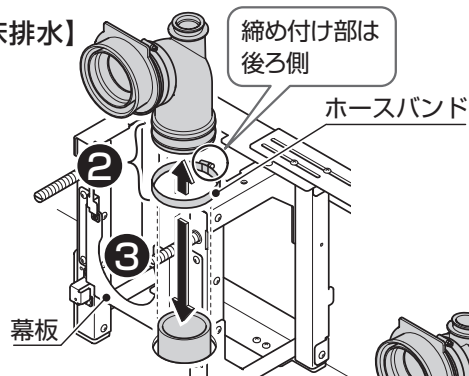
▶P.36

### 1 排水接続管の取り付け

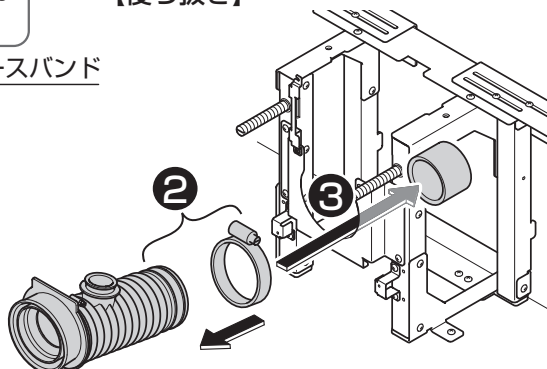
- ① ソケット押え板を上げておく
- ② テープ留めを外す
- ③ リベットを乗り越えて、上げておく



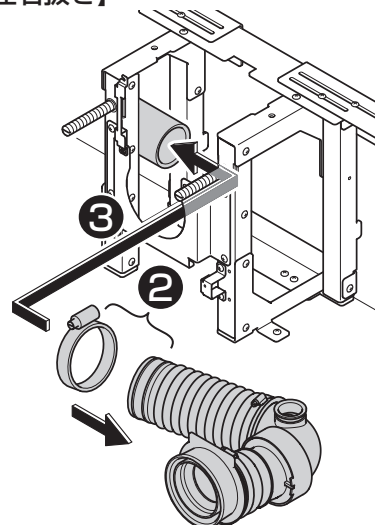
#### 【床排水】



#### 【後ろ抜き】



#### 【左右抜き】

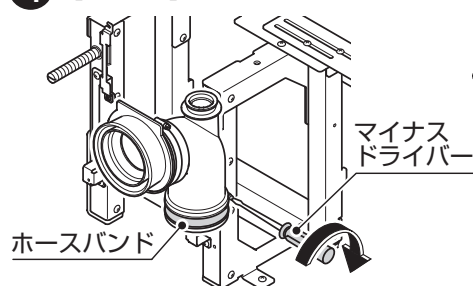


### ⚠ 注意

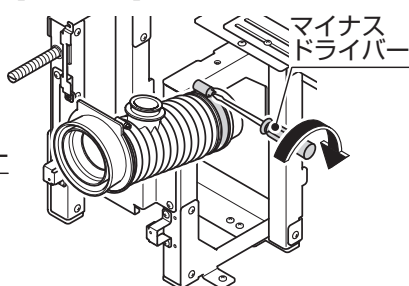


手洗排水合流部が真上になるように、排水接続管を接続する  
排水接続管が水平にならず、逆勾配になることがあります。

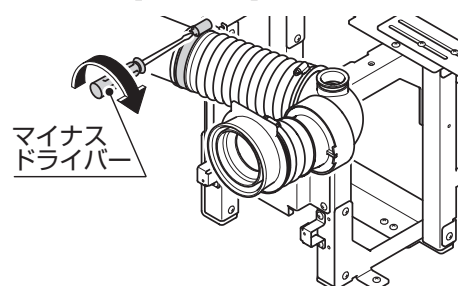
#### ④ 【床排水】



#### 【後ろ抜き】



#### 【左右抜き】

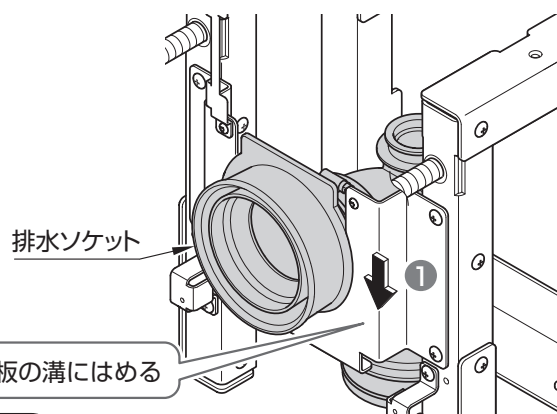
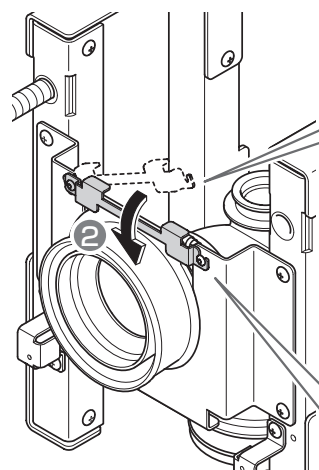
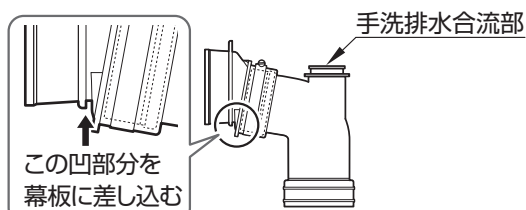
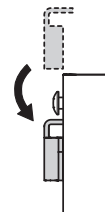
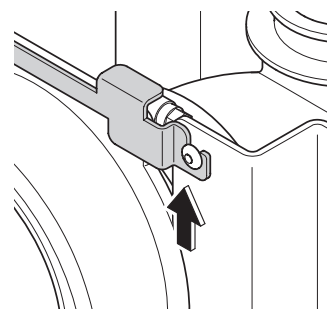


### ⚠ 注意

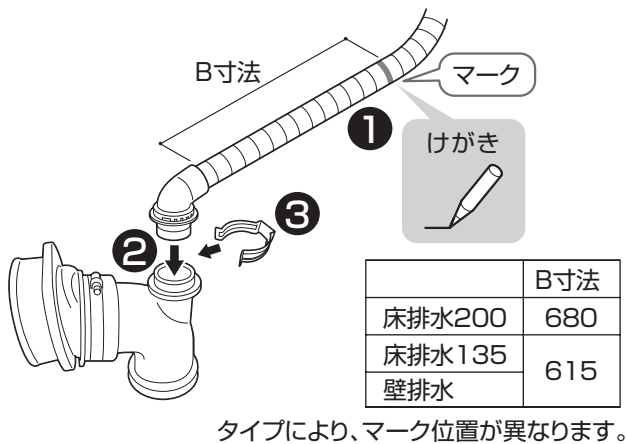


ホースバンドは、電動ドライバーで締め付けない  
排水接続管にしわがよったり破れたりして、水漏れし、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



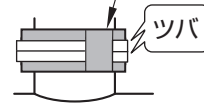
**⑤ 排水ソケットの固定****ポイント****② リベットを乗り越えて、  
下へ押し込む****③ リベットに引っ掛ける****MEMO**

## 2 手洗器用排水ホースの取り付け

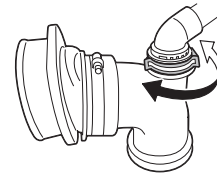


### ⚠ 注意

クイックファスナーの全周にツバが掛かっていることを確認する  
クイックファスナー



⚠ 必ず守る  
クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

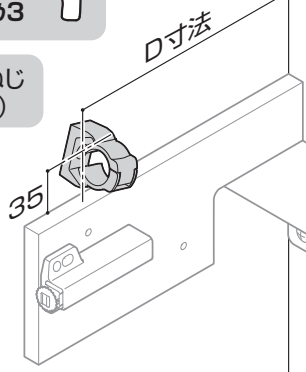


### 4 配管固定材を横壁に取り付け

けがき → 下穴※



皿タッピンねじ  
4×40(1本)

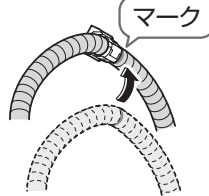


	D寸法
床排水200	245
床排水135	180
壁排水	

※【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



### 5 ホースを配管固定材に固定



### 6 壁掛大便器スタンド間口調整材の下穴にあわせて配管支持材を取り付けてホースを配管固定材に固定

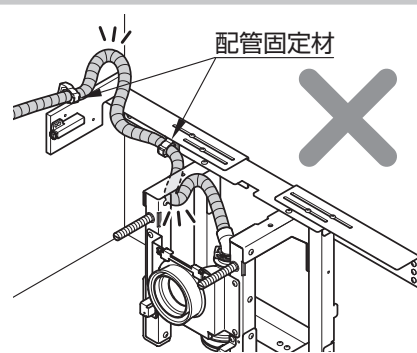


皿タッピンねじ  
4×40(1本)

### 逆勾配注意

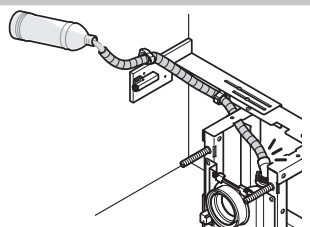
手洗器用排水ホースがたるまないように固定する

手洗器から異音発生のおそれがあります。



### 水漏れ確認

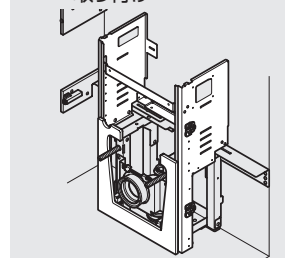
接続後、すぐに水漏れ確認する



※図は手洗器が左勝手の場合です。  
右勝手の場合は、左右反転となります。

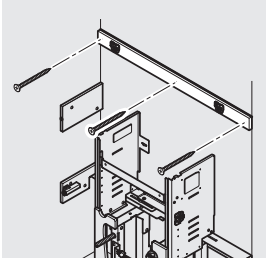
## 5. コアキャビネット

### 1 コアキャビネットの 取り付け



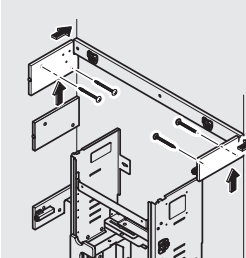
▶ P.37

### 2 後横さんの取り付け



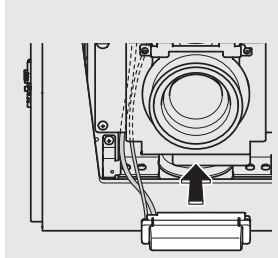
▶ P.38

### 3 壁側板の取り付け



▶ P.38

### 4 照明部材の取り付け

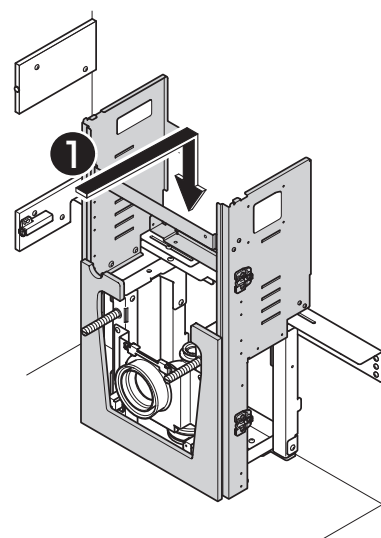


▶ P.39

5

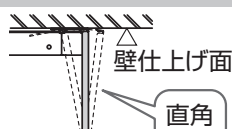
コアキャビネット

## 1 コアキャビネットの取り付け



### 注 意

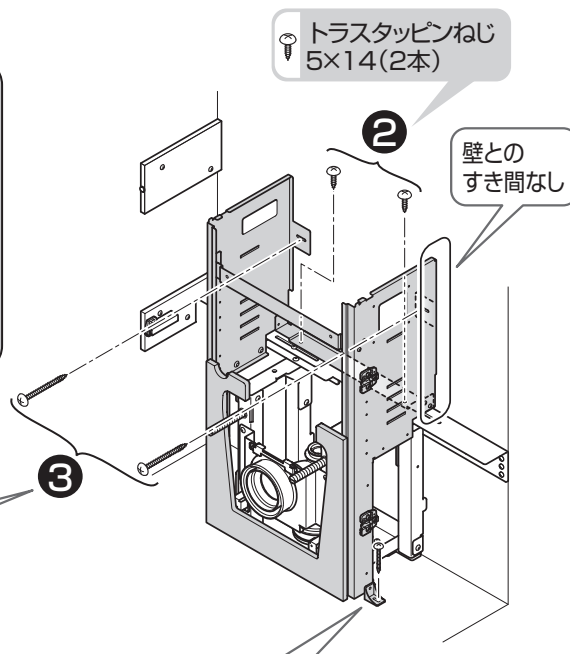
ねじ固定時に側板が  
曲がらないようにすること



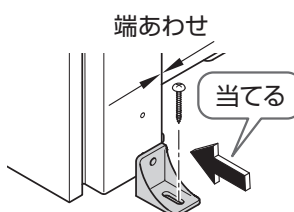
けがき → 下穴



トラスタッピンねじ  
4×40 (2本)



### 4 アンクル材を側板に当て、床に固定 (側板への固定は不要) (カウンター反対側に1カ所)



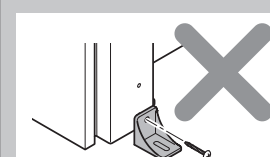
けがき → 下穴



トラスタッピンねじ  
4×30 (1本)

### 注 意

側板へ固定しない

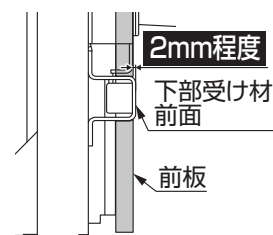
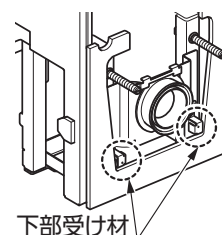
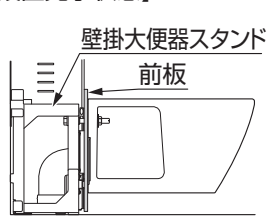


### ポイント

下部受け材前面が前板より  
2mm程度、前に出ていることを  
確認する

下部受け材が壁仕上げ面より引っ込んでいると、  
前面に荷重がかかり破損するおそれがあります。

### 【設置完了状態】



## 2 後横さんの取り付け

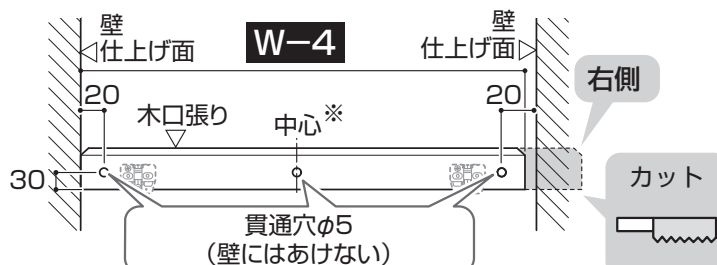
### ① 後横さんカット・穴あけ

#### ポイント

チッピングに  
注意!

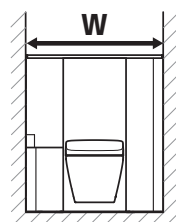
木口張り

木口張り面から  
カットする

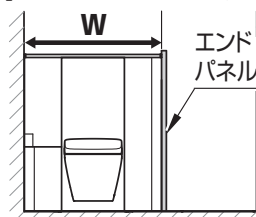


※壁裏補強なしの場合は間柱中心

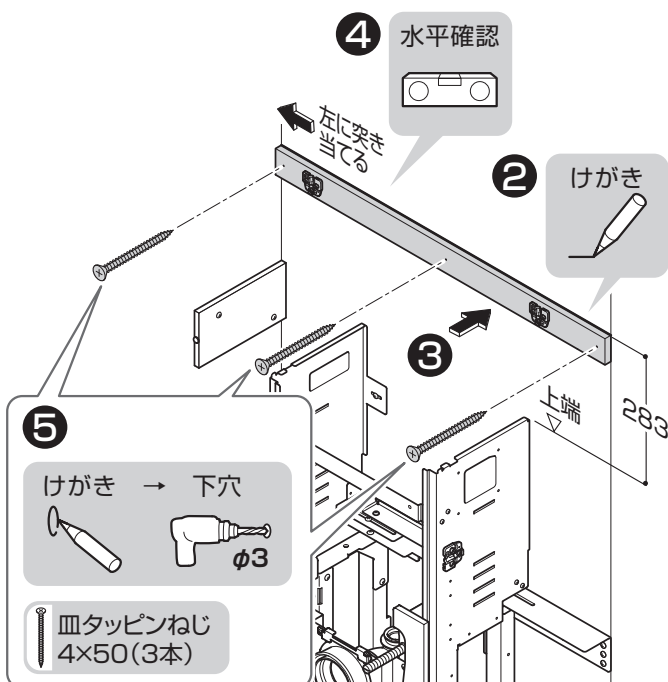
### 間口寸法Wの 測定範囲



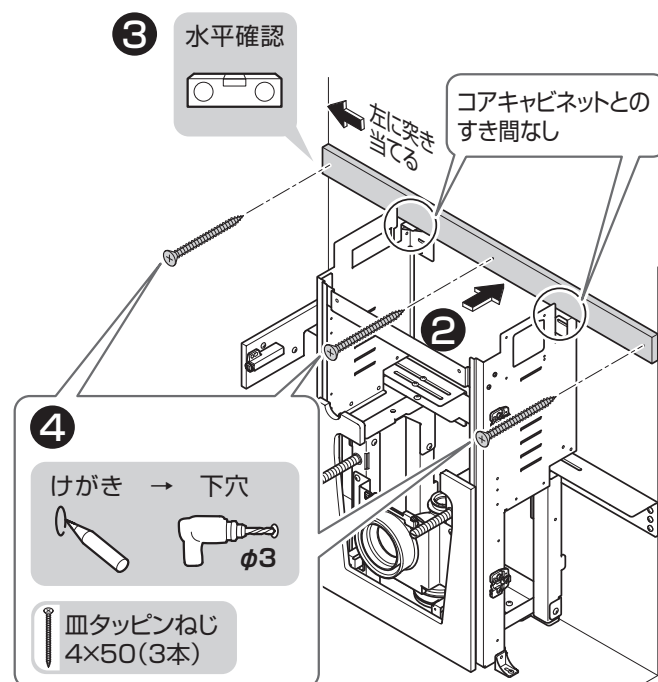
【エンドパネルありの場合】



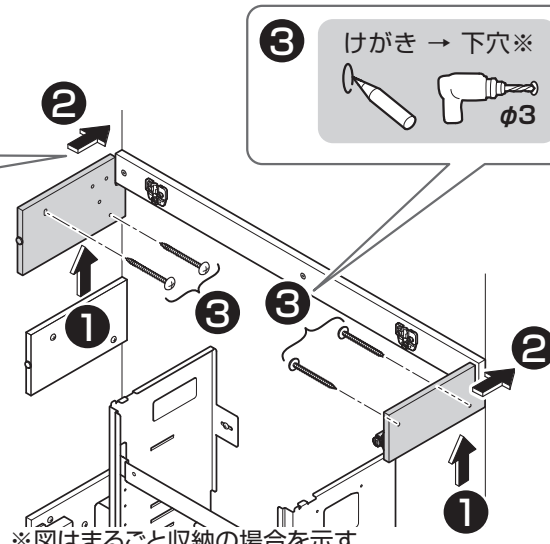
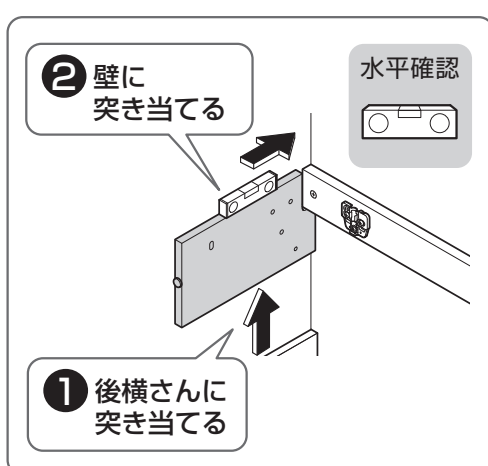
#### まるごと収納タイプの場合



#### すっきり収納タイプの場合



## 3 壁側板の取り付け



トラスタッピンねじ  
4×40(4本)

※【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



#### エンドパネルの場合

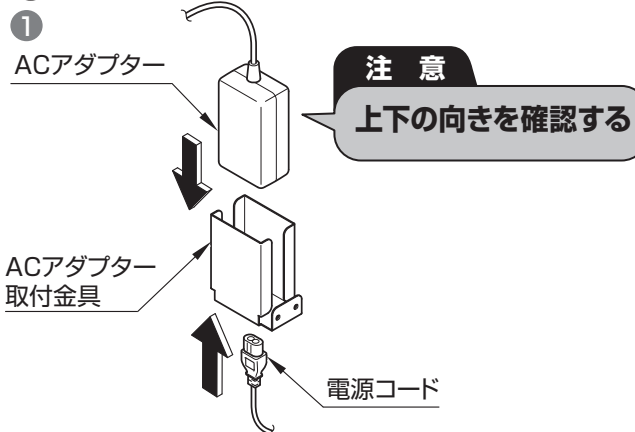
#### 必ず使用

「エンドパネル」に同梱  
トラス小ねじ  
M4×18(2本)

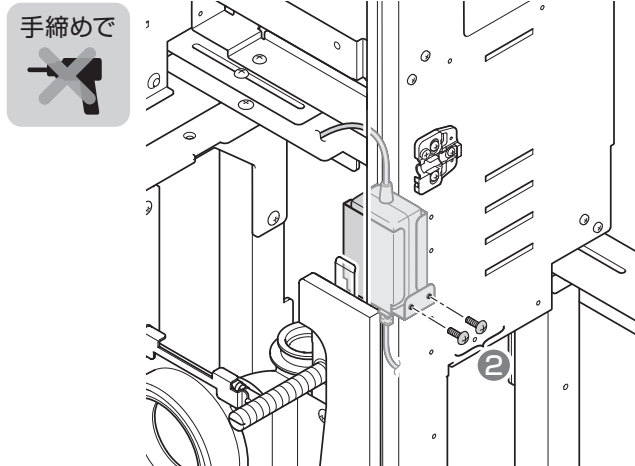
※図はまるごと収納の場合を示す

## 4 照明部材の取り付け

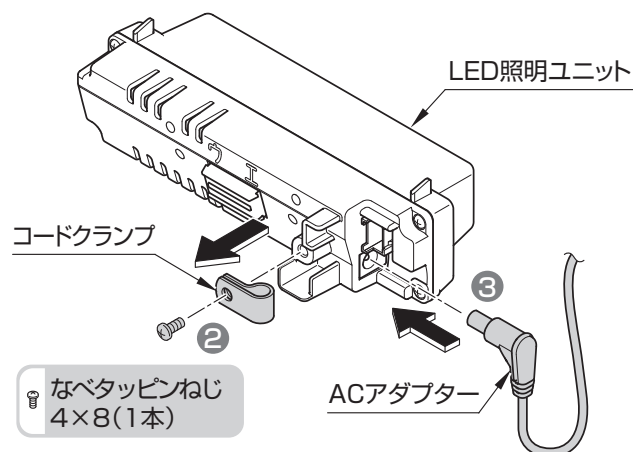
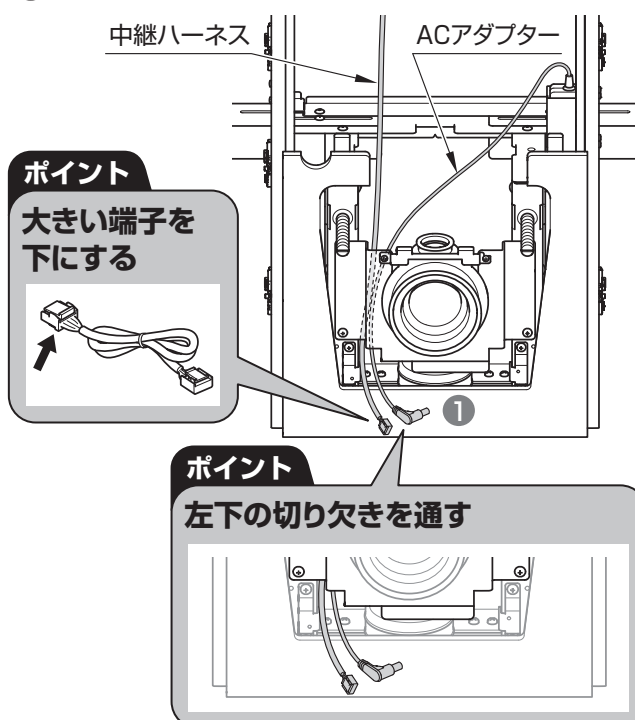
### ① ACアダプターの取り付け



トラス小ねじ  
M4×10(2本)



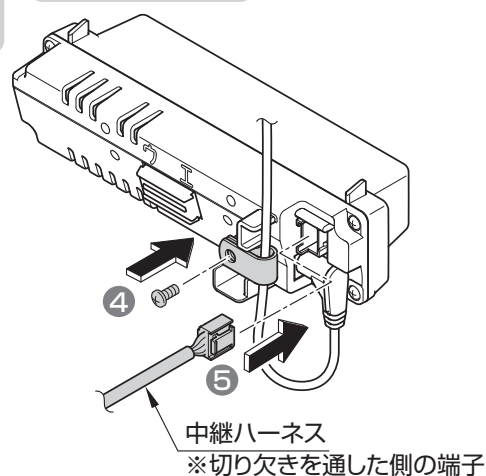
### ② LED照明ユニットの組み立て



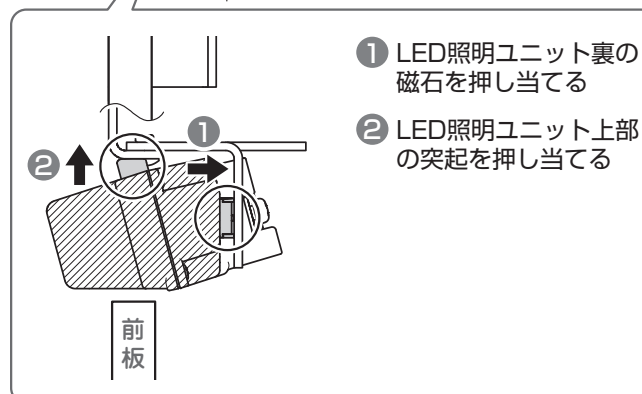
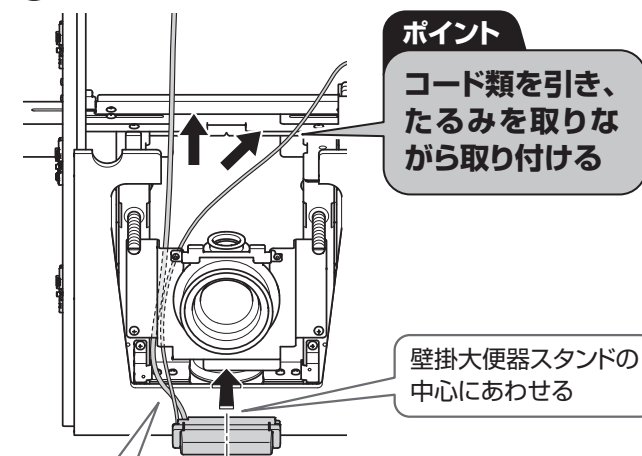
手締めで



なベタッピンねじ  
4×8(1本)



### ③ LED照明ユニットの取り付け



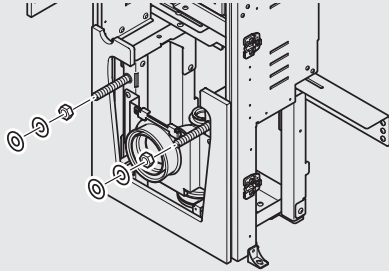
5

コアキャビネット



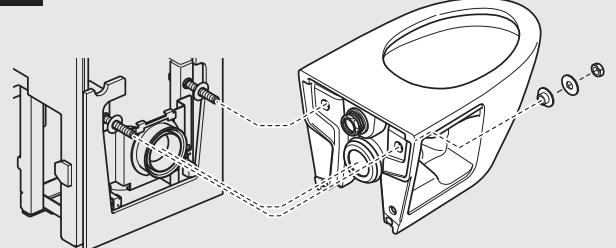
## 6. 大便器

### 1 取り付けの準備



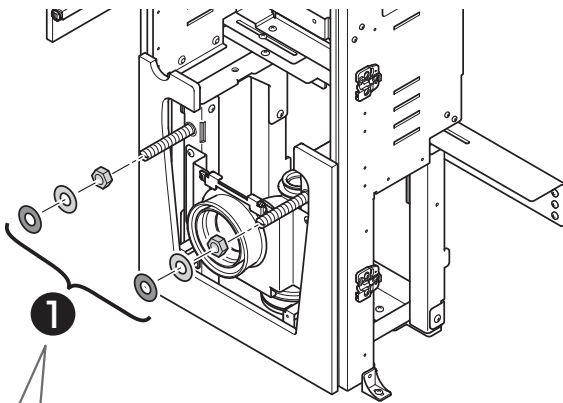
▶ P.40

### 2 大便器の取り付け



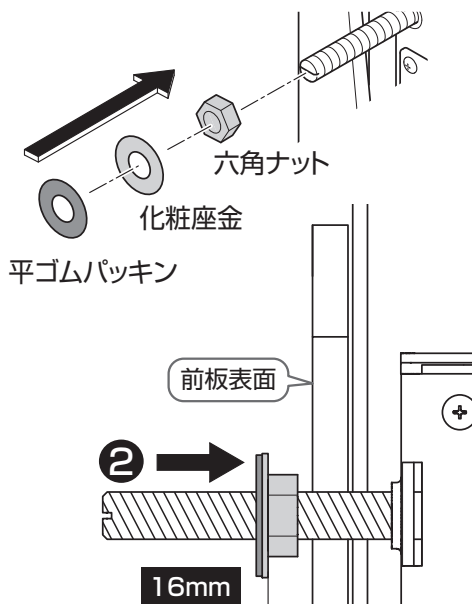
▶ P.41

### 1 取り付けの準備



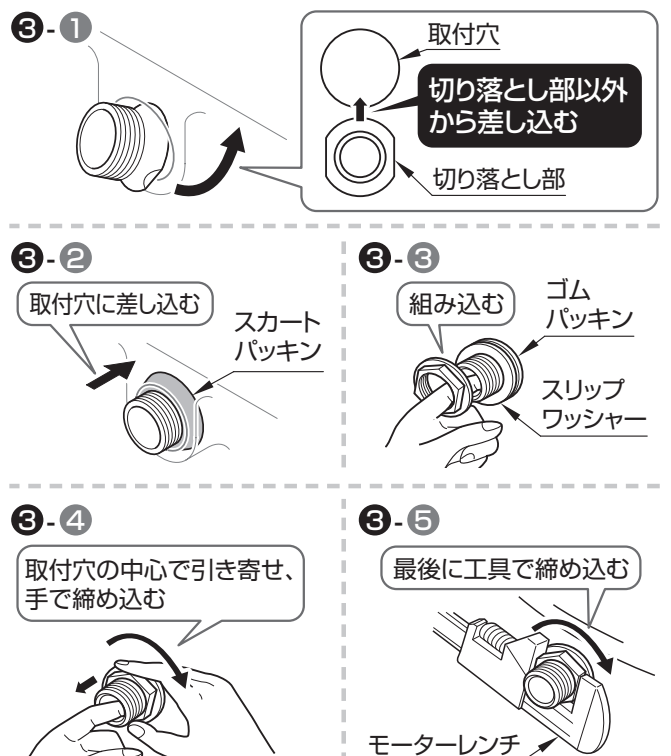
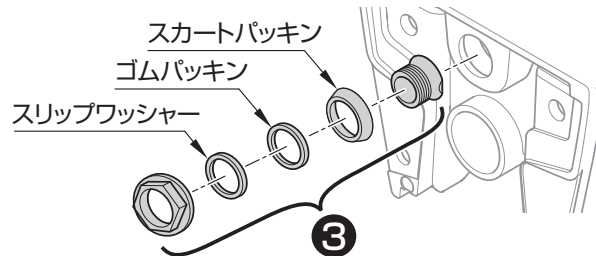
#### ⚠ 注意

**必ず守る** 化粧座金が前板表面より16mmの位置になるように調整する  
前板に荷重がかかり破損するおそれがあります。

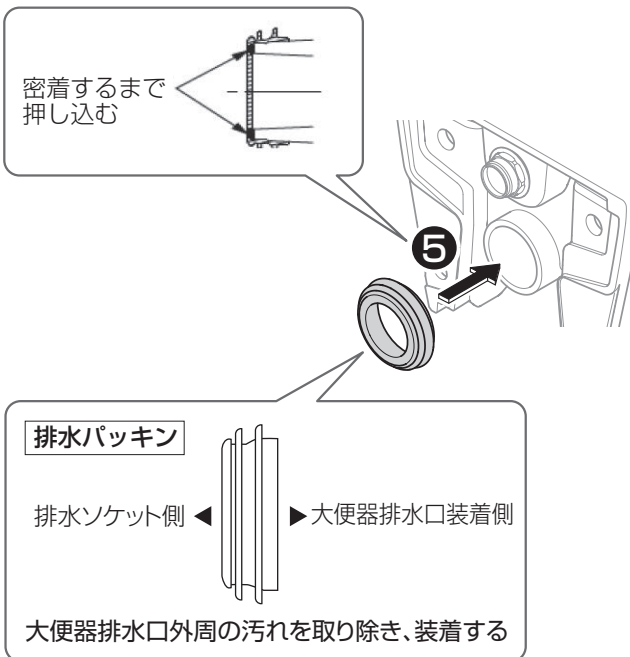


#### ⚠ 注意

**必ず守る** 大便器の底にはってある断熱材は、はがさない  
はがしたり傷つけたりすると結露した水によって家財  
などをぬらす財産損害発生の原因となります。



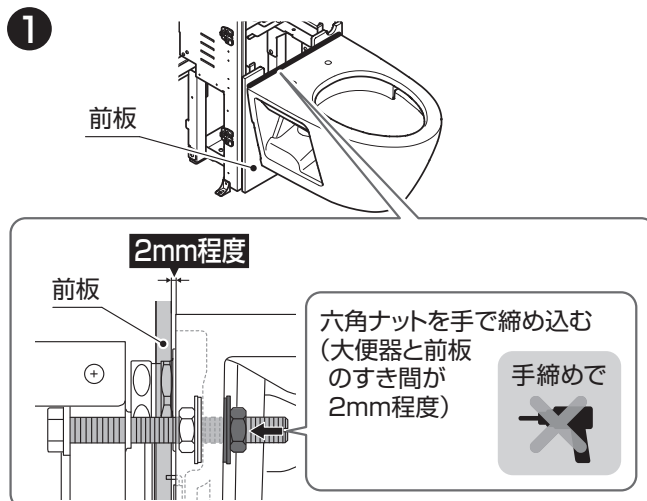
#### ④ 排水パッキンに水または水石けんを付ける



### ⚠ 注意

禁止	グリスは使用しない 劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水パッキンに必ず水または水石けんを付けてから差し込む 排水パッキンがよれたり切れたりし、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</li> <li>排水パッキンは大便器排水口に密着するまで押し込む 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</li> </ul>

#### ①



### ⚠ 注意

- 大便器を工具で締め付ける前に、大便器上面のすき間が2mm程度であること、大便器の裏面に平ゴムパッキンが接触していることを確認する
  - すき間が2mm程度でない場合は、化粧座金から前板表面までの寸法16mmを微調整する工具で締め付けた際、前板に荷重がかかり破損するおそれがあります。
- 必ず守る

#### 注意

コード類を挟み込まないこと

#### ② 排水接続管が逆勾配にならないように確認・調整

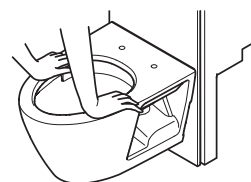
#### ③ 上部の六角ナットを交互に工具で締め付け 本固定

### ⚠ 注意

- パッキンの擦れる音がするまで六角ナットを締め込まない  
破損するおそれがあります。
- 必ず守る

#### ④ ぐらつきおよび異音有無の確認

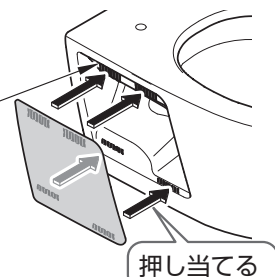
- 便器先端に両手で荷重をかけ
  - ☐ 便器がぐらつかないこと
  - ☐ 異音発生のないこと
  - ☐ 前板と大便器のすき間は2mm程度のこと
  - ☐ 便器下部受材に大便器が接触していること



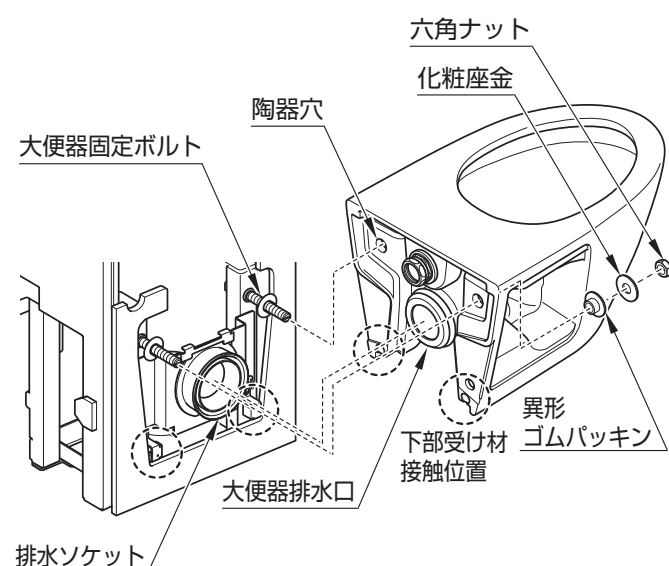
#### ⑤ サイドカバー取り付け

サイドカバー  
取付境界線

- ※面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえて、サイドカバーが外れないことを確認してください。

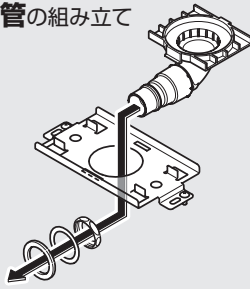


## 2 大便器の取り付け



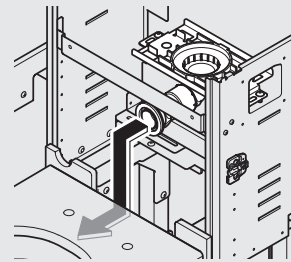
## 7. タンク接続管

### 1 タンク接続管の組み立て



▶P.42

### 2 タンク接続管の取り付け



▶P.42

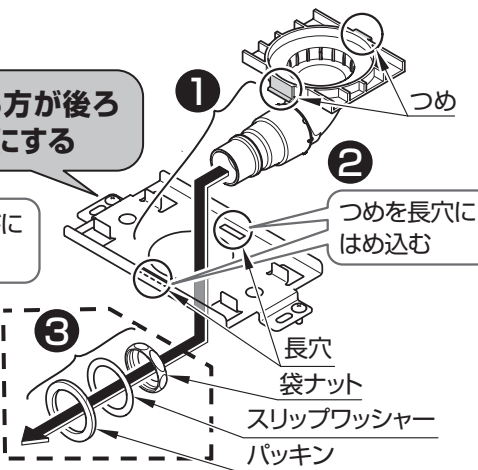
## 7 タンク接続管

### 1 タンク接続管の組み立て

#### ポイント

ねじがある方が後ろになるようにする

大便器スパッドに同梱



#### ⚠ 注意



必ず守る

袋ナット・スリップワッシャー・パッキンの取付順番を間違えないようにする  
水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

手締めで



1 (左右)  
前後左右の水平を確認しながら  
ねじをゆるめる

2

トラス小ねじ  
M6×16(2本)

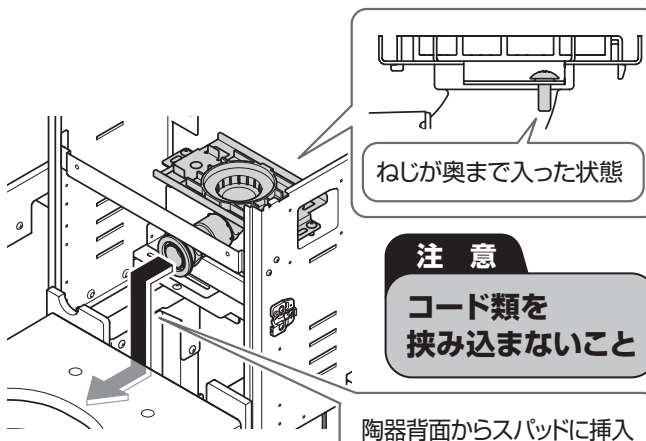
#### ポイント

下記内容を確認してください。

- ・タンク接続管がスパッドの奥に当たっていること
- ・タンク接続管が前後左右水平であること
- ・ねじにゆるみ、がたつきがないこと

※タンク接続管が水平でない場合、あとでタンクを設置した際、タンクが傾きキャビネットや照明部材と干渉します。

### 2 タンク接続管の取り付け



陶器背面から視点  
モーターレンチ

3 締め付ける

#### ⚠ 注意



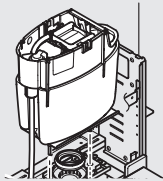
必ず守る

袋ナットは工具で確実に締める  
水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



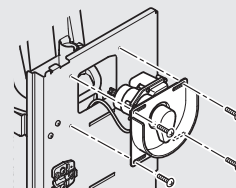
## 8. セットタンク

### 1 セットタンクの取り付け



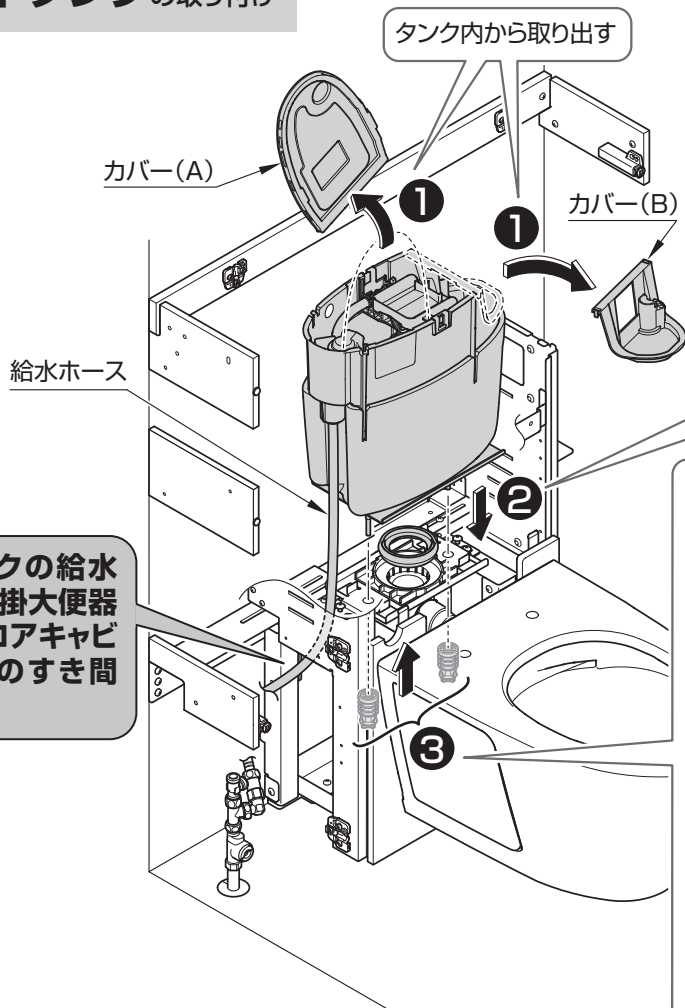
▶P.43

### 2 洗浄レバーの取り付け



▶P.45

### 1 セットタンクの取り付け



### 2 タンク接続管に載せる

#### ⚠ 注意

タンクにパッキンがセットされていることを確認する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

#### 注意

コード類を挟み込まないこと

#### ポイント

セットタンクの給水ホースは壁掛大便器スタンドとコアキャビネット側板のすき間を通す

### 固定ナットの取り付けかた

#### ⚠ 注意

左右の固定ナットを確実に締める  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う  
工具を使用すると破損するおそれがあります。



固定ナットを手締めでかたく締め付ける。

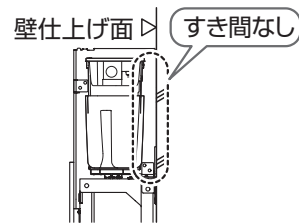
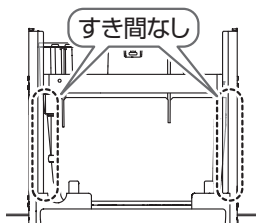
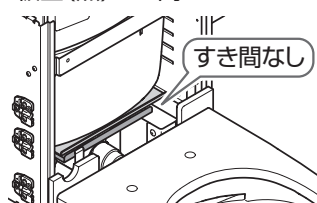
### 4 すき間確認

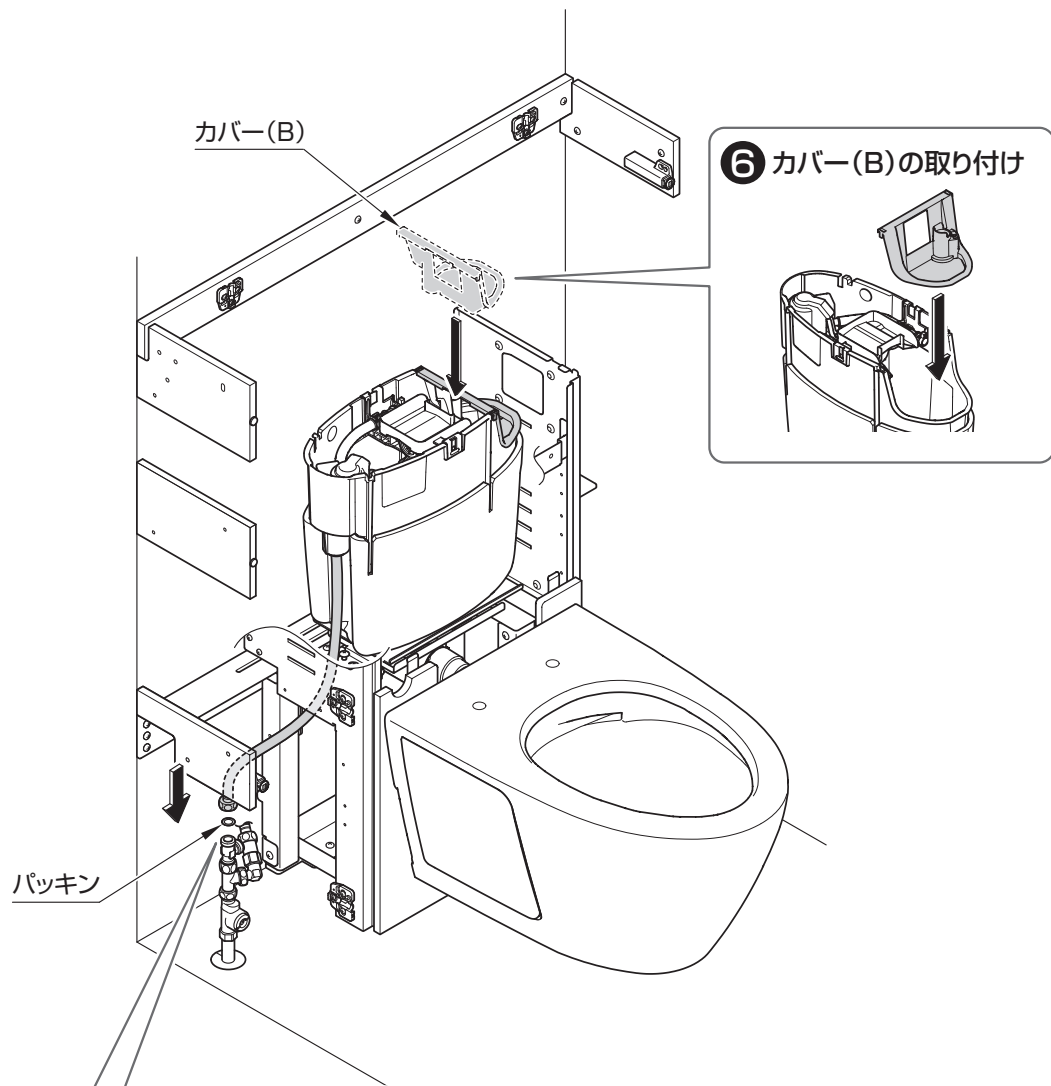
※タンクがキャビネット側板に干渉している場合は、タンクを外して、タンク接続管が傾いていないか、確認してください。

☐ タンク接続管とタンク下部の板金(黒)との間

☐ タンクとコアキャビネット側板の間

☐ タンクと後壁の間

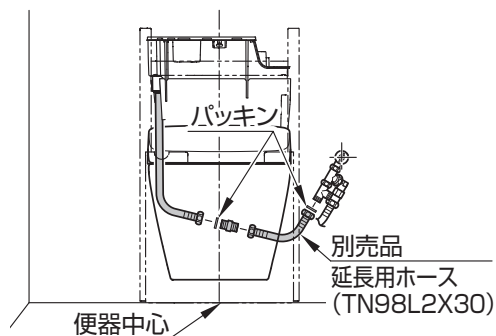




**5 止水栓に給水ホ-スを取り付け**

**壁給水**

壁排水 左抜きの場合

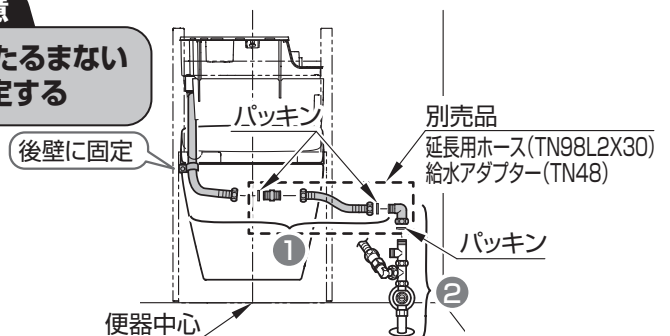


**水抜方式**

止水栓が右側にある場合

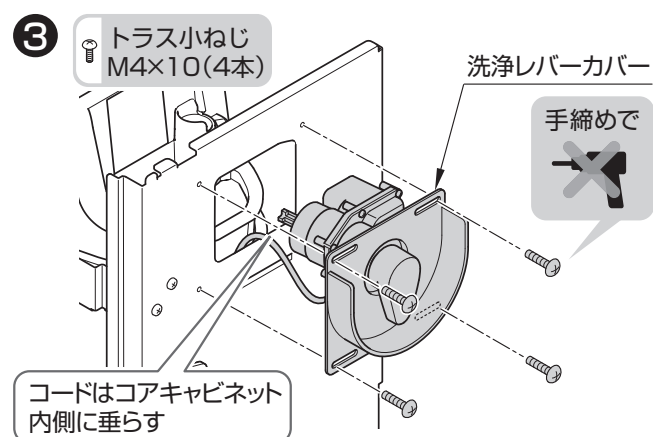
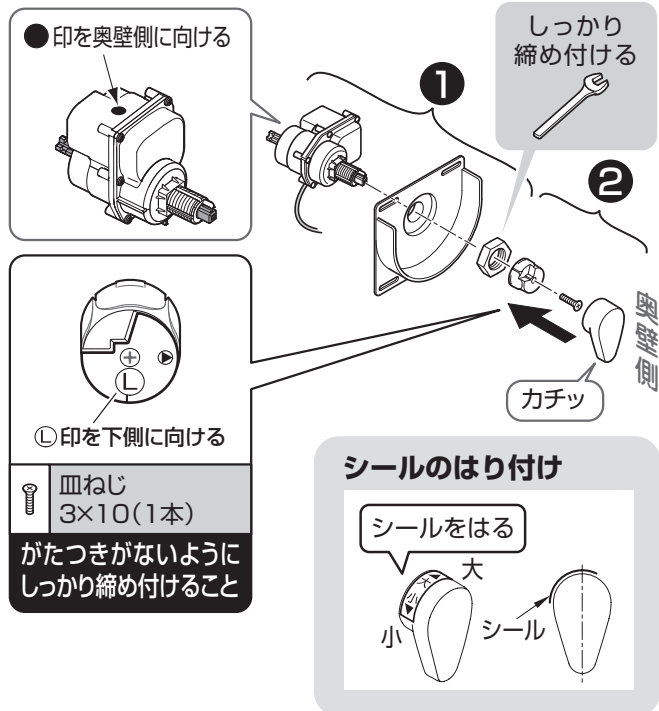
**逆勾配注意**

ホ-スがたるまない  
ように固定する



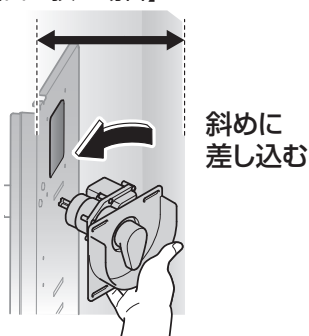
## 2 洗浄レバーの取り付け

※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが異なります。ワッシャーA、ワッシャーBは使用しません。



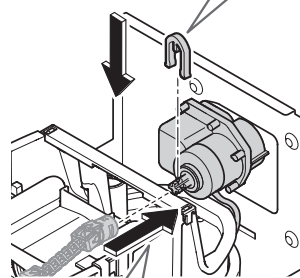
### ポイント

【間口が狭い場合】



## 4 ジョイントからピンを取り外す

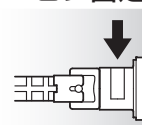
## 6 ピンを差し込む



### ポイント

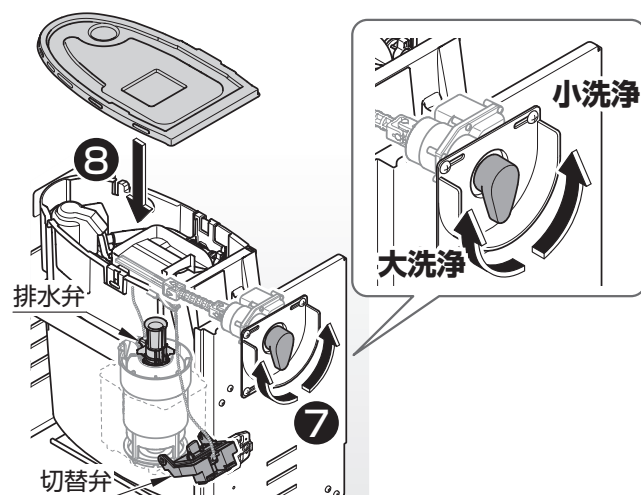
ジョイントが  
抜けないことを確認

ピン固定位置



## 7 作動確認

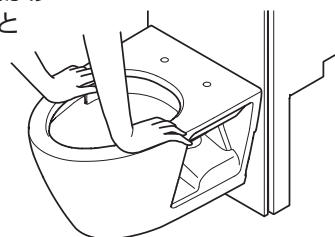
- ☐ レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- ☐ 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- ☐ 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- ☐ 洗浄後、レバーが正規の位置に戻ることを確認



## 9 ぐらつきおよび異音有無の確認

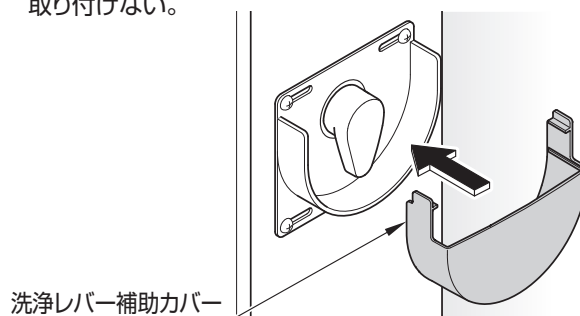
便器先端に両手で荷重をかけ

- ☐ 便器がぐらつかないこと
- ☐ 異音発生のないこと



## 10 洗浄レバー補助カバーを取り付ける

※右勝手の場合は洗浄レバー補助カバーは  
取り付け不要。



## 8

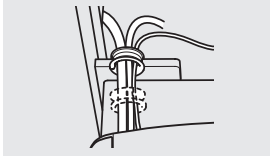
セットタンク

## 9. ウォシュレット

### 1 ウォシュレットの設置

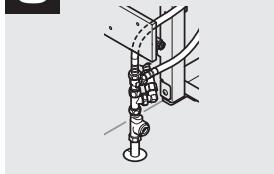
▶ウォシュレット施工説明書

### 2 ホース・コードのはめ込み



▶P.46

### 3 ホースの接続



▶P.46

### 4 リモコンの設定・作動確認



▶P.47

## 1 ウォシュレットの設置

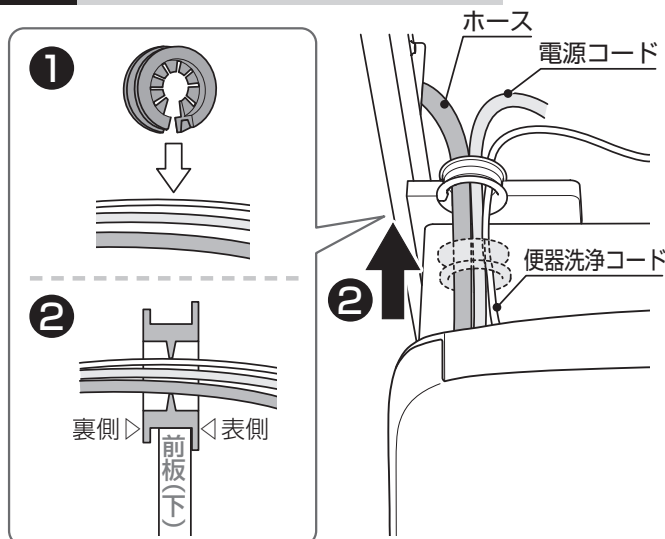
▶ウォシュレット施工説明書

壁給水で壁排水（左抜き）の場合、既存給水流用（水抜方式）右側立ち上げの場合

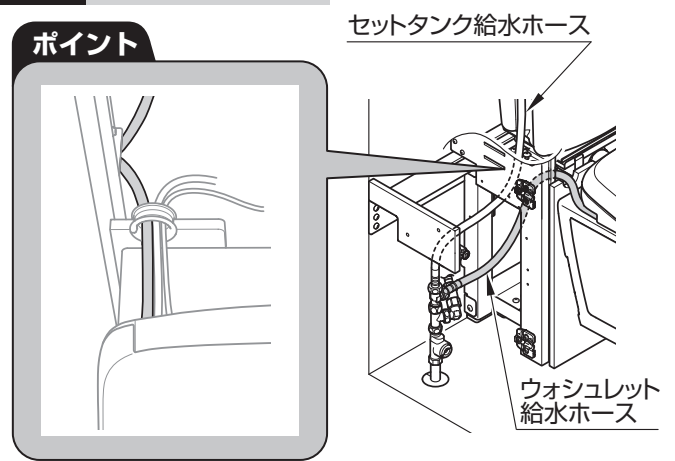
給水ホースを交換する  
別売品 ウォシュレット用給水ホース(TCA525)

作業がしやすいようにウォシュレットを  
手前に引き出しておく。

## 2 ホース・コードのはめ込み



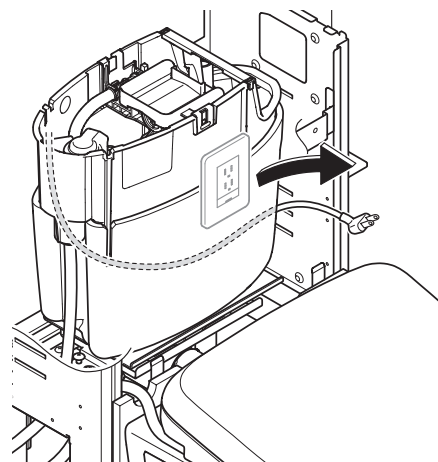
## 3 ホースの接続



水抜方式

### 電源コード取り回し

タンク用ヒーターの電源コードをコンセント側  
に取り回しておく



## 4 リモコンの設定・作動確認

### ① 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認

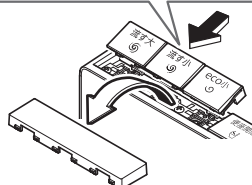
### ② 流すボタンの取り付け

▶流すボタン取付説明書

流すボタン  
(ウォシュレット専用便器洗浄ユニットに同梱)

#### 注意

リモコンには流すボタンが  
取り付けいていません。  
必ず取り付けてください。



### ③ ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを確認し、モード設定をする

#### 注意

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあとに行ってください。  
※ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。

### ④ ビデ/ワイド と 水勢 - を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。



### ⑤ おしり/ソフト → 水勢 - → 水勢 + の順に押す

ピッ



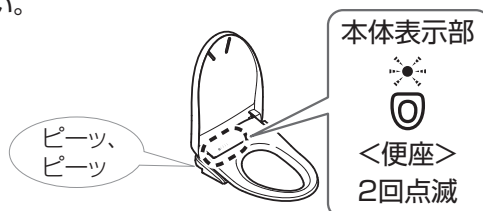
### ⑥ ビデ/ワイド と 水勢 + を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。



### ⑦ おしり/ソフト → 水勢 - → おしり/ソフト の順に押す

電子音が鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが2回点滅することを確認する  
電子音とランプの点滅が下記でなかった場合は、設定が正しくできていません。  
手順③に戻り設定しなおしてください。



### ⑧ 作動確認

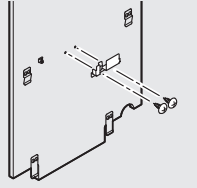
※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



■正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

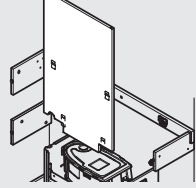
# 10.前板（上）

## 1 前板の組み立て



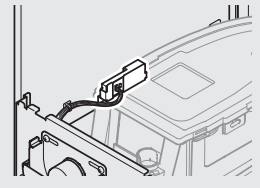
▶ P.48

## 2 前板の取り付け



▶ P.48

## 3 マイクロ波センサーの取り付け



▶ P.48

## 1 前板の組み立て

トラスタッピンねじ  
3.5×10(2本)

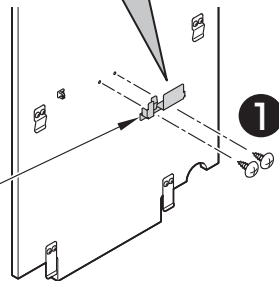
手締めで



マイクロ波センサー取付金具  
※照明部材セットに同梱  
されています。

注意

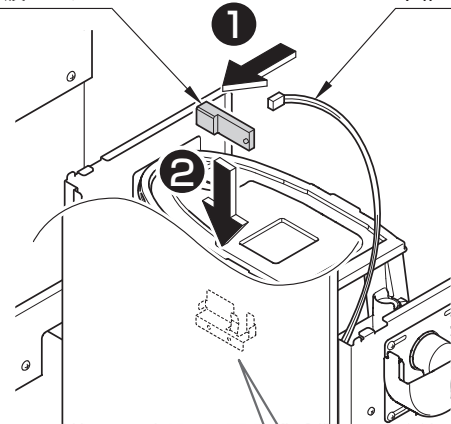
上下の向きを確認



## 3 マイクロ波センサーの取り付け

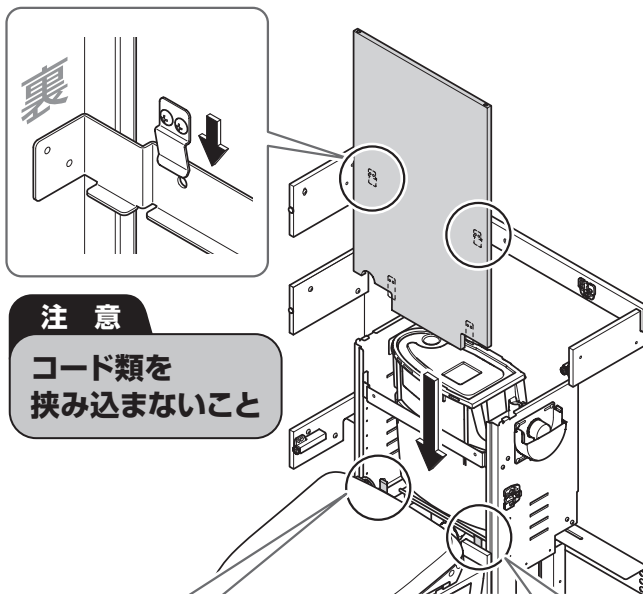
マイクロ波センサー

中継ハーネス



## 2 前板の取り付け

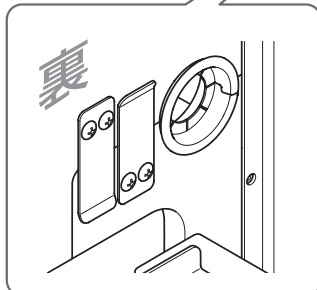
裏



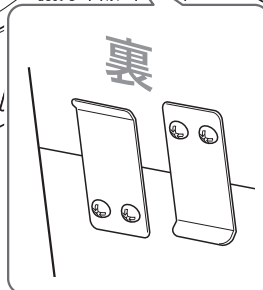
注意

コード類を  
挟み込まないこと

裏

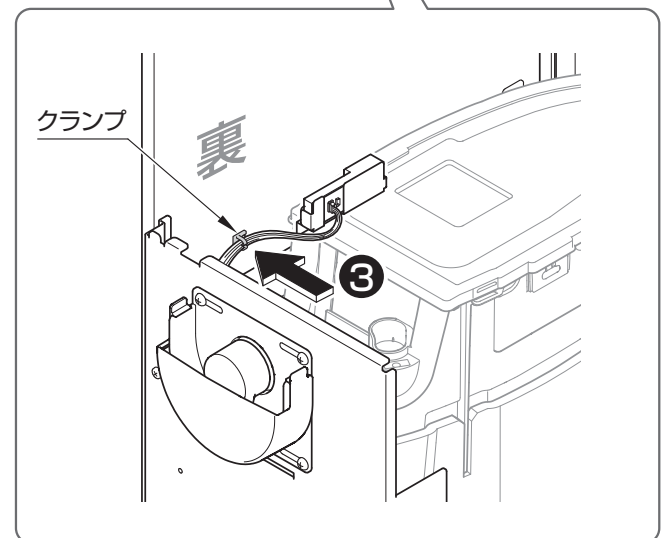


裏



クランプ

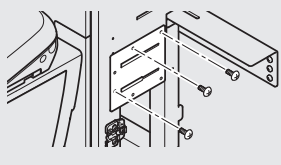
裏





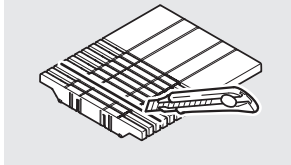
# 11. 棚板・タンク上収納底板用アンゲル材(まるごと収納タイプ)

## 1 化粧パネルの取り付け



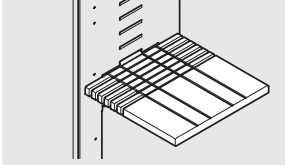
▶ P.49

## 2 棚板のカット



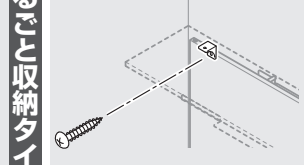
▶ P.49

## 3 棚板の取り付け



▶ P.50

## 4 アンゲル材の取り付け



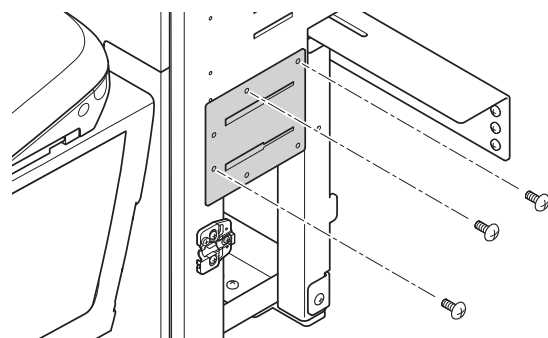
▶ P.50

まるごと収納タイプ

## 1 化粧パネルの取り付け

※カウンターが取り付け反対側に  
取り付けてください。

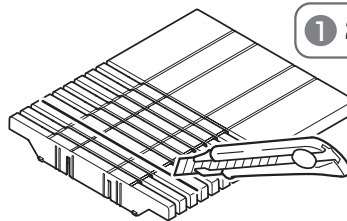
トラス小ねじ  
M4×10(3本)



## 2 棚板のカット

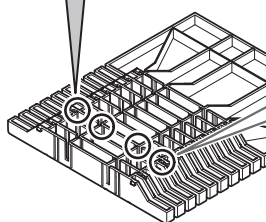
【上面】

① 2回程度なぞる

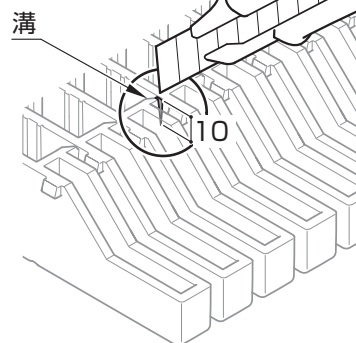


【裏面】

けがいた位置を  
確認(4カ所)



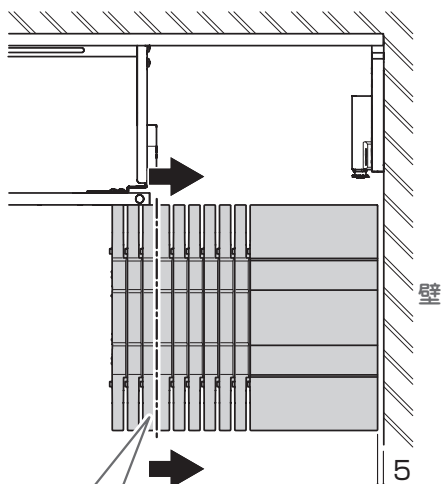
② リブの溝にあわせて切り込みを入れる  
(4カ所)



## 2 棚板のカット

### ① 設置寸法の測定

【上図】

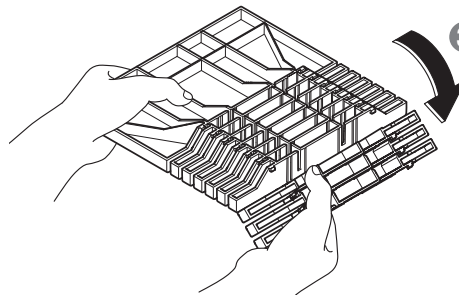


けがき

前板の端から壁側寄りに  
ある一番近い溝

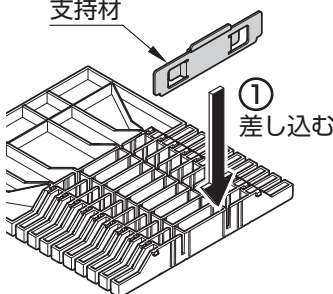
① 5mm程度  
すき間を空けて、  
前板に当てる

③ 折る



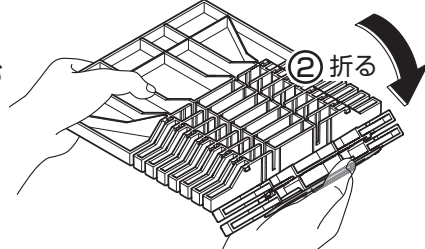
棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合

支持材



① 差し込む

② 折る







# 12.扉

**2 扉の取り付け** 調整については  
下記URL内の「扉の調整」をご覧ください。  
【URL】 [https://jp.toto.com/support/repair/solution\\_t/08\\_02.htm](https://jp.toto.com/support/repair/solution_t/08_02.htm)

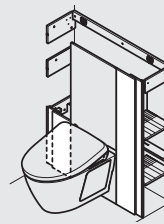


## 1 扉の組み立て



▶P.51

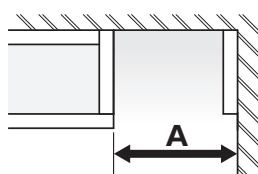
## 2 扉の取り付け



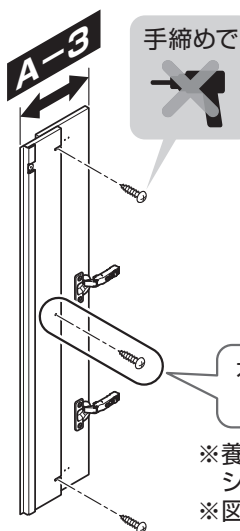
▶P.51

## 1 扉の組み立て

### ① 設置寸法の測定



### ② 扉の組み立て



手締めで

トラスタッピンねじ  
4×20 (2本)

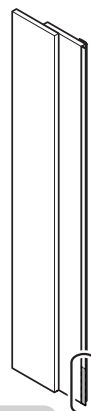
本固定用(ここでは使用しない)  
▶「21.仕上げ」

※養生シートがある場合は取付前に  
シートをはがす  
※図は右扉セットの場合

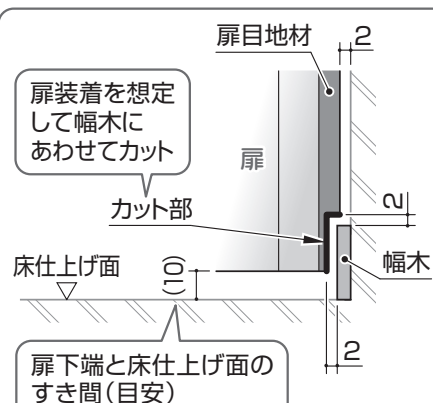
### 幅木がある場合

### ③ 扉目地材のカット

扉は開閉のため、床仕上げ面から  
浮いているので切りすぎないように  
注意すること



カット



扉装着を想定  
して幅木に  
あわせてカット

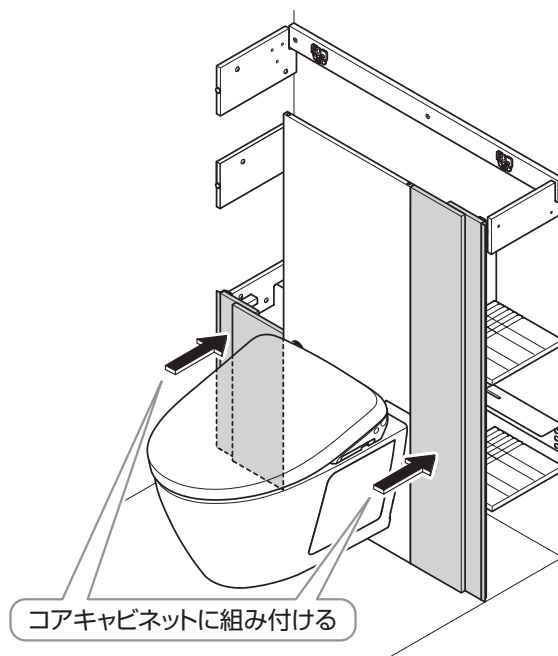
カット部

床仕上げ面

扉下端と床仕上げ面の  
すき間(目安)

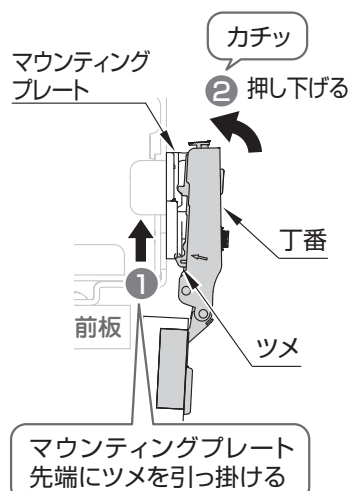
## 2 扉の取り付け

### ① 扉をコアキャビネットの丁番に取り付け



コアキャビネットに組み付ける

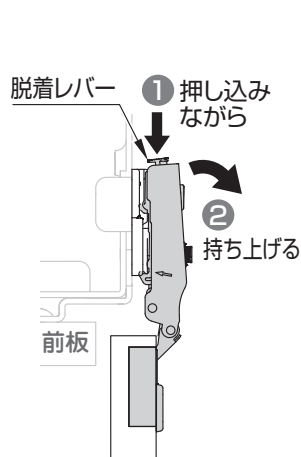
### 取り付けかた



マウンティングプレート  
先端にツメを引っ掛ける

丁番本体がきちんと  
マウンティングプレートに  
装着されているか確認する

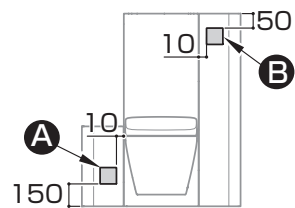
### 取り外しかた



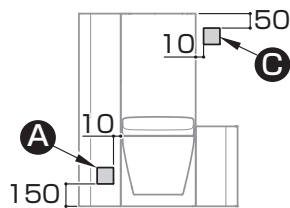
## ② ラベルのはり付け

**A** 止水栓ラベル **B** 便器洗浄ラベル **C** 便器洗浄ラベル  
止水栓がある側にはる (GH04247) (GH04248)

〈左勝手の場合〉



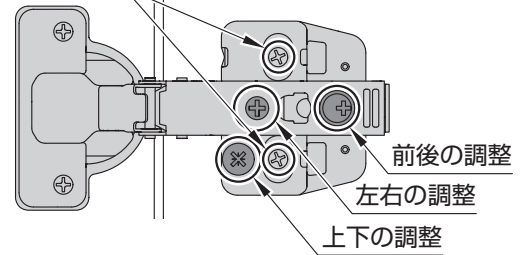
〈右勝手の場合〉



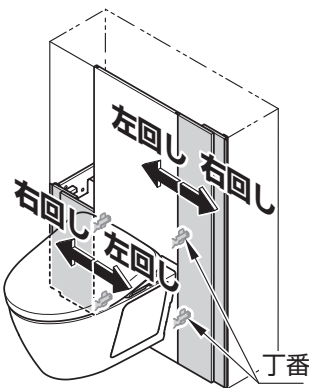
はり付け位置(参考)

## 扉の調整

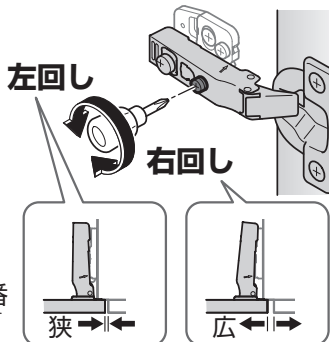
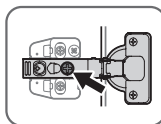
このねじは使わない



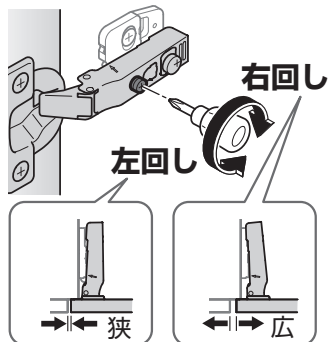
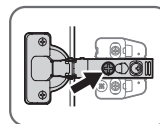
【左右】



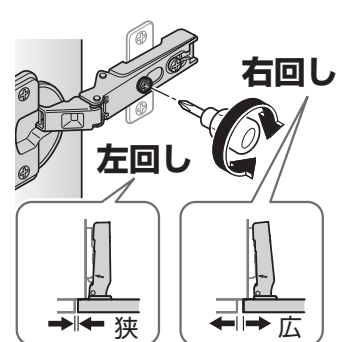
【左扉の場合】



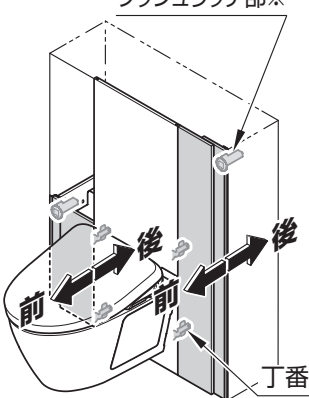
【右扉の場合】



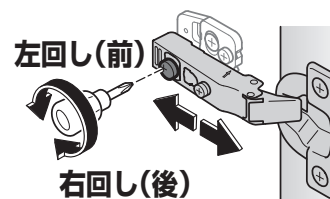
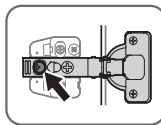
【手洗器キャビネットの場合】



【前後】

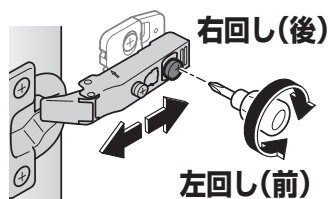
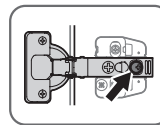


【左扉の場合】

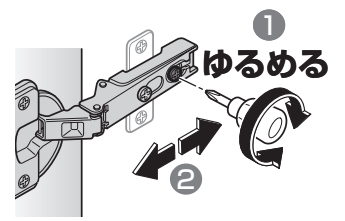


※プッシュラッチ部も  
前後調整できます。

【右扉の場合】

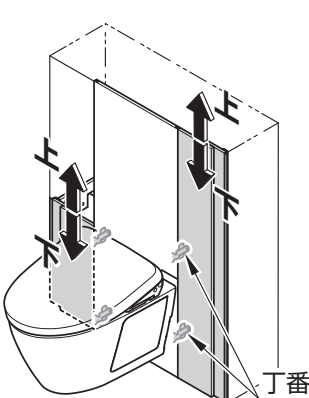


【手洗器キャビネットの場合】

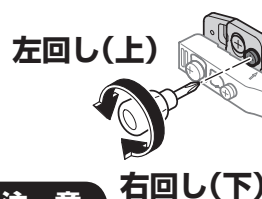


前が出る 後ろに下がる

【上下】



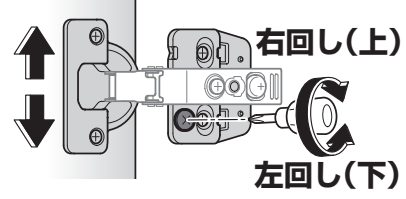
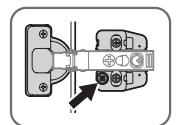
【左扉の場合】



注意

扉の上下調整は上下2つの丁番の移動方向をあわせる  
逆方向に移動すると扉の動きがかたくなる、また扉が反ることがあります。

【右扉の場合】



※扉の向きによって調整ねじ  
位置が変わります。

【お引渡し前に】

扉の本固定と調整を必ず行ってください。▶P.91

# 13. 固定扉・天板

## 1 固定扉のカット

▶ P.53

## 2 丁番・固定扉キャップの取り付け

▶ P.53

## 3 固定扉の取り付け

▶ P.54

## 4 天板の加工

▶ P.54

## 5 天板の組み立て

▶ P.54

## 6 天板の取り付け

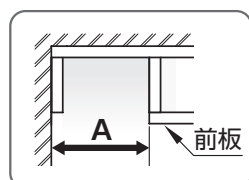
▶ P.54

## 1 固定扉のカット

**注意**

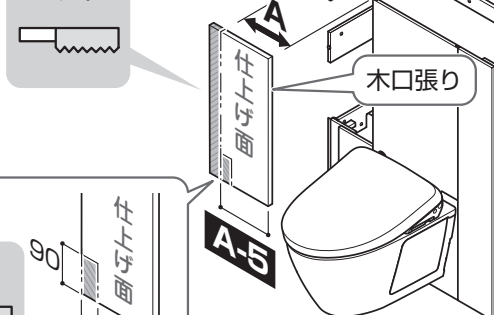
仕上げ面を上にしてカットすること

【左勝手】



①

カット



②

けがき → カット



【右勝手】



①

カット



②

けがき → カット



## 2 丁番・固定扉キャップの取り付け

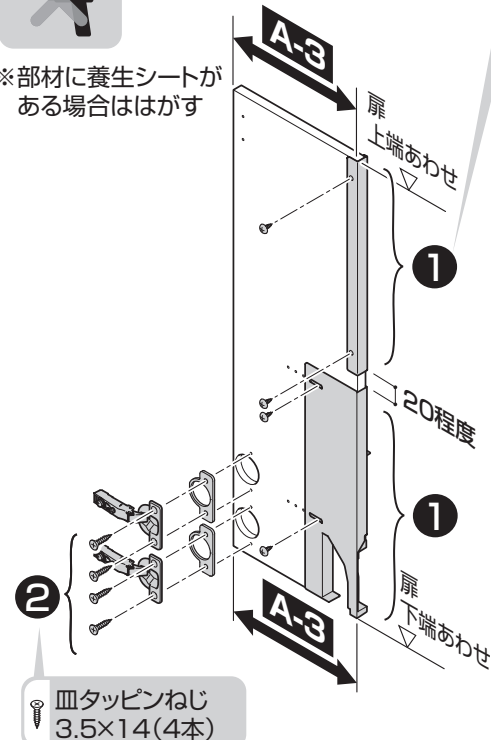
まるごと収納タイプの場合

手締めで



※部材に養生シートがある場合ははがす

トラスタッピンねじ  
4×10(4本)



皿タッピンねじ  
3.5×14(4本)

**注意**

天板開閉部材セットに同梱されている  
スライド丁番を使用しないこと  
形は同じでも開き角度が違います。

### すっきり収納タイプの場合

手締めで



皿タッピンねじ  
3.5×14(4本)

2

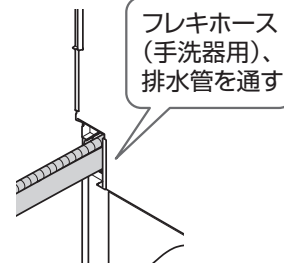
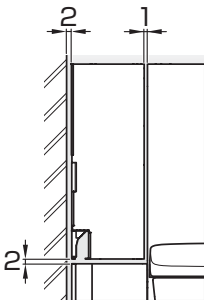
トラスタッピンねじ  
4×10(2本)

扉  
上端合せ

※部材に養生シートが  
ある場合ははがす

## 3 固定扉の取り付け

仕上げ状態(目安)



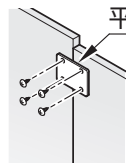
フレキシホース  
(手洗器用)、  
排水管を通す

まるごと収納タイプ

トラスタッピンねじ  
4×10(4本)

平板金

手締めで



取り付けかた

マウンティング  
プレート

2 押し下げる

カチッ

丁番

ツメ

1

前板

マウンティングプレート  
先端にツメを引っ掛ける

丁番本体がきちんとマウン  
ティングプレートに装着され  
ているか確認する

取り外しかた

脱着レバー

1 押し込み  
ながら

2 持ち上げる

前板

### すっきり収納タイプ

## 4 天板の加工

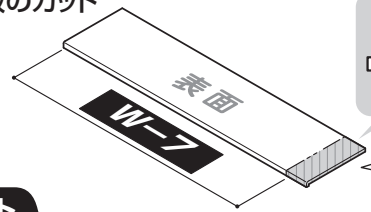
1 W寸法測定

狭い方を  
基準にする



## 2 天板のカット

カット



表面  
W-7

カウンターと  
反対側

ポイント

チッピングに注意!



のこぎりの場合  
は表面からカット



丸のこの場合は  
裏面からカット

### すっきり収納タイプ

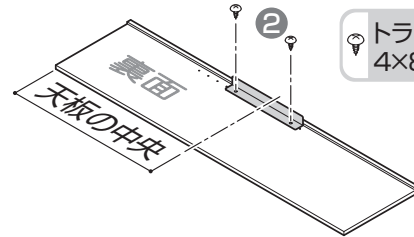
## 5 天板の組み立て

1 天板固定材の  
取り付け

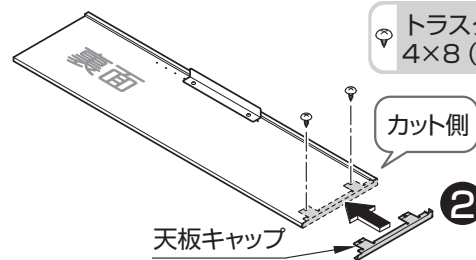
天板固定材

天板

1 当てる



トラスタッピンねじ  
4×8(2本)



トラスタッピンねじ  
4×8(2本)

カット側

2

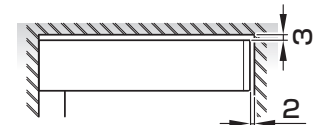
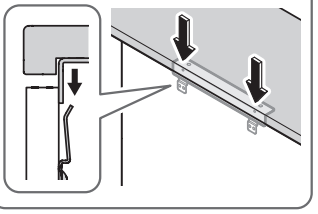
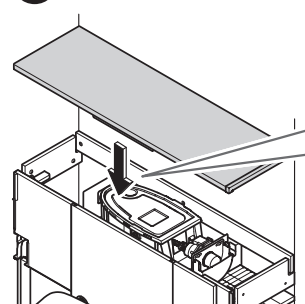
天板キャップ

### すっきり収納タイプ

## 6 天板の取り付け

1 天板の取り付け

前板に天板固定材を差し込む



※まるごと収納タイプの場合は試運転確認後に施工します。

## 手洗器 M サイズ

# 14-M.手洗器キャビネット・カウンター

「手洗器Sサイズ」の場合  
P.67を参照してください。

## カウンターの水平について

ブラケットおよびカウンターが水平となるように、スペーサーなど（現場手配）で必ず調整してください。  
壁仕上げの状態（垂直、目地、鏡面など）によって、カウンターの見ばえに影響が出ることがあります。

### 1 上段カウンターの 部材の 取り付け

▶P.55

### 2 上段補強さんの 取り付け

▶P.57

### 3 上段カウンターの 取り付け

▶P.58

電気温水器付  
自動水栓の場合

### 4 手洗器 キャビネットの 加工

▶P.58

### 5 手洗器 キャビネット の取り付け

▶P.58

### 6 下段カウンターの カット

▶P.59

### 7 下段カウンターの 部材の取り付け

▶P.59

### 8 下段補強さんの 取り付け

▶P.60

### 9 下段カウンターの 取り付け

▶P.61

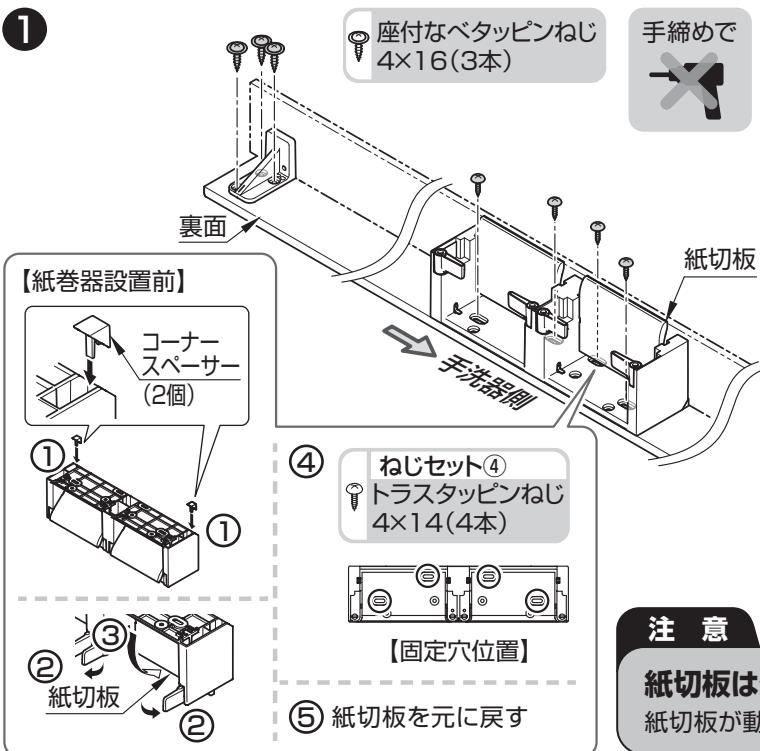
## 1 上段カウンターの部材の取り付け

### ポイント

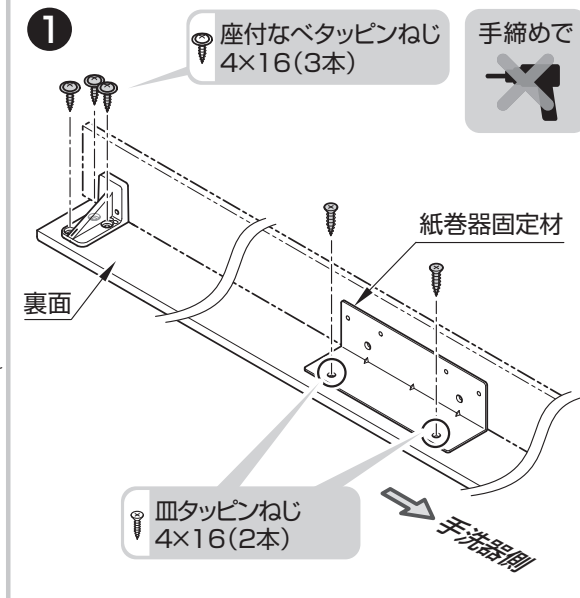
ブラケット類の裏面に  
上段補強さんをあてがい、  
固定する



樹脂製紙巻器の場合（紙巻器固定材はありません）



メタル製紙巻器の場合



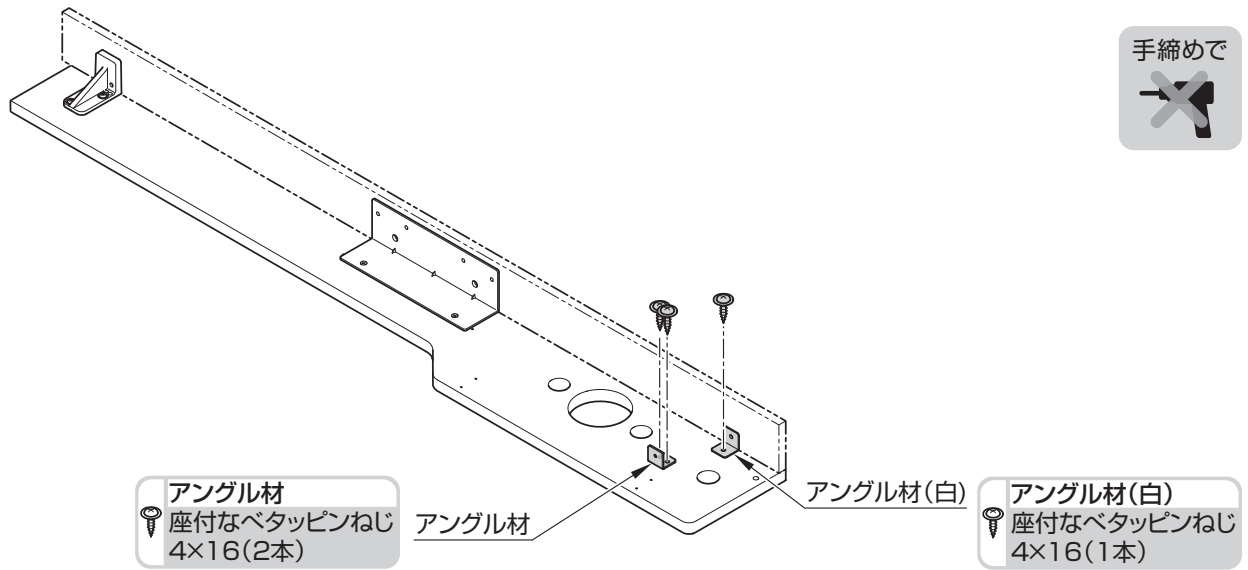
### 注意

紙切板は外さない

紙切板が動作不良を起こすことがあります。

14

手洗器キャビネット・カウンター

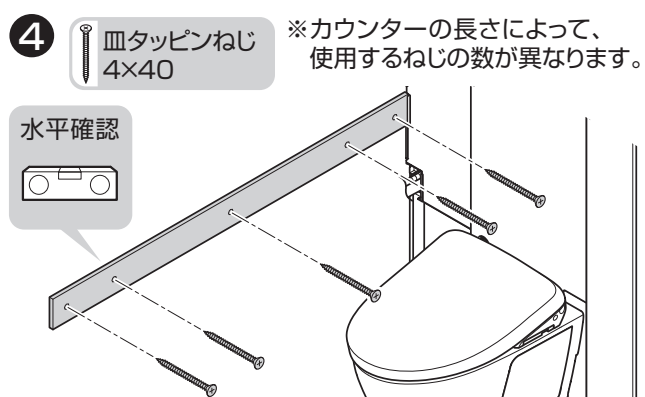
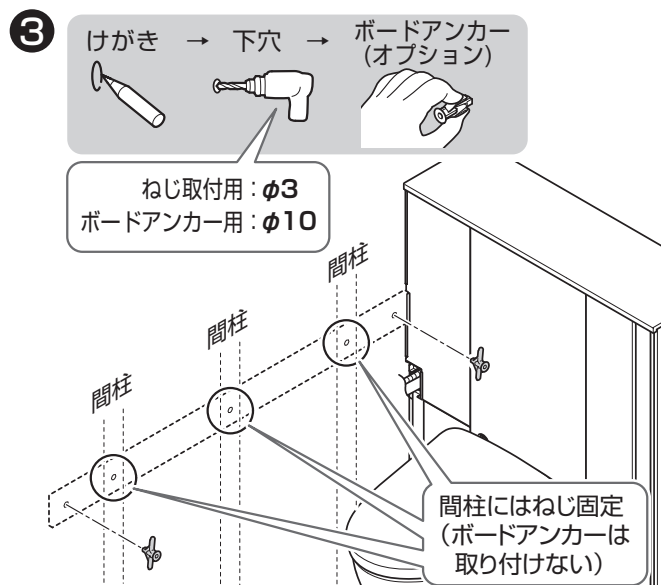
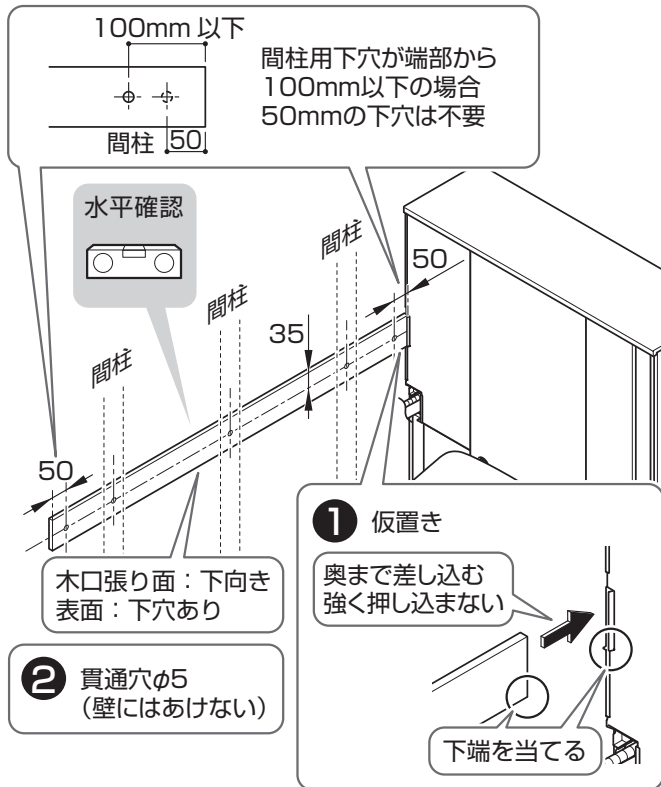


## MEMO



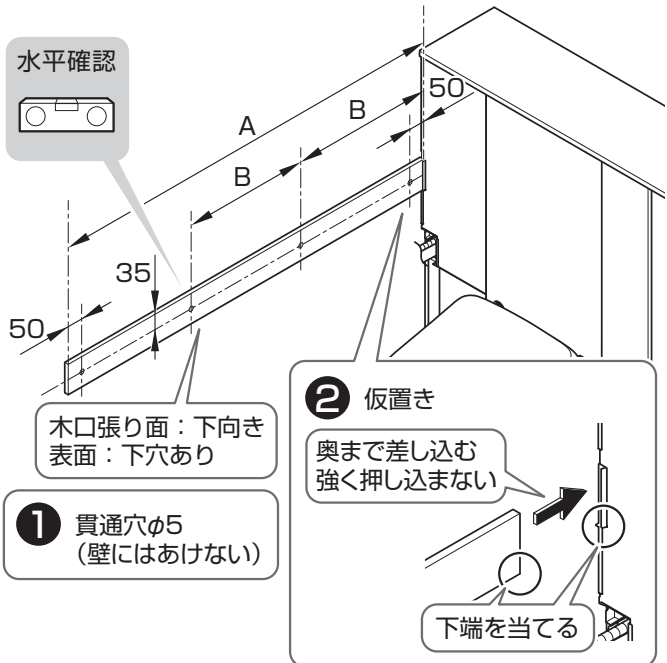
## 2 上段補強さんの取り付け

### 壁裏補強なしの場合

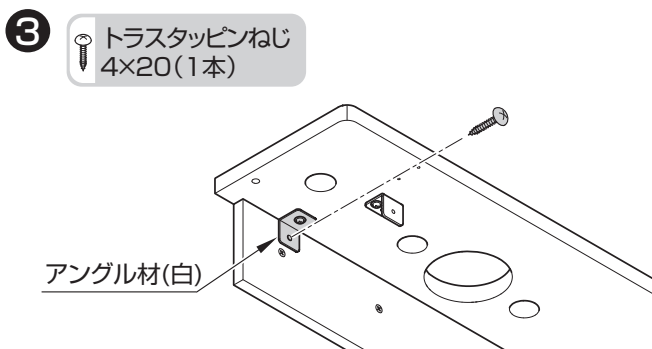
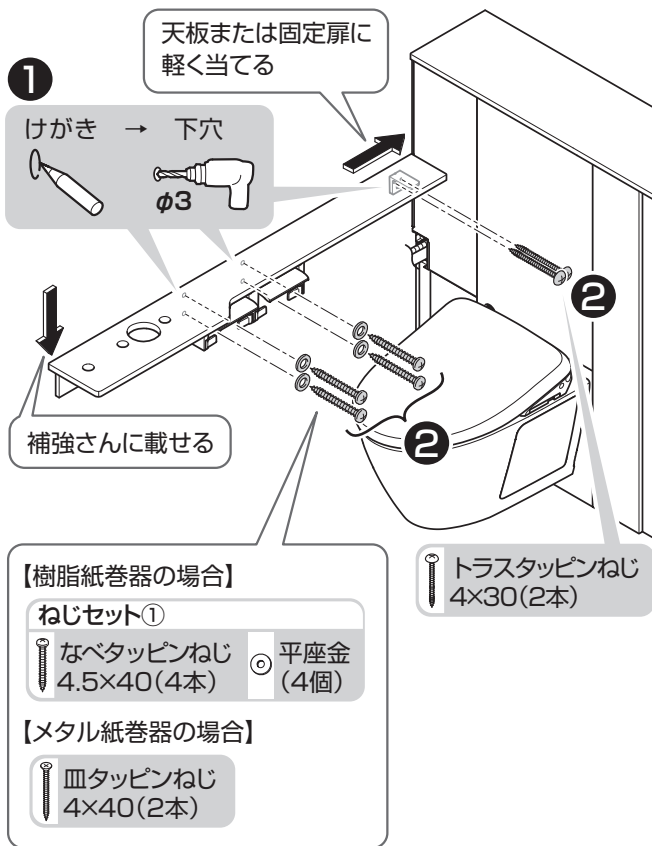


### 壁裏補強ありの場合

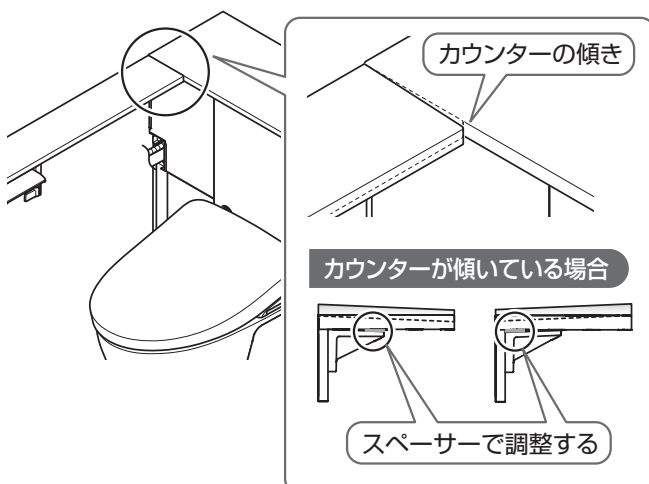
キャビネット奥行	A寸法	B寸法
256	1217	405
320	1253	415



### 3 上段カウンター取り付け



天板とカウンターがフラットつながりの場合



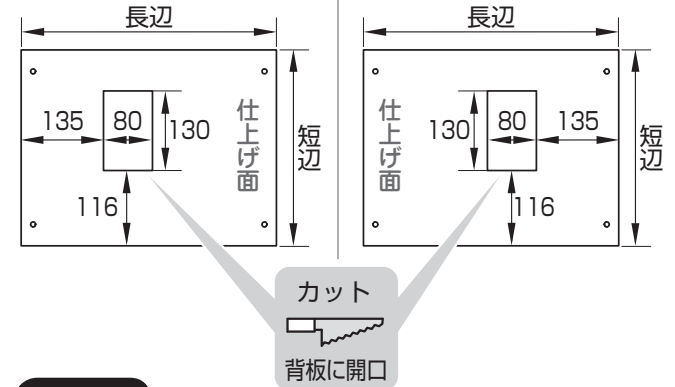
### 電気温水器付自動水栓の場合

### 4 手洗器キャビネットの加工

背板にコンセント用の穴を加工

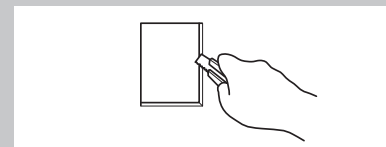
【左勝手】

【右勝手】

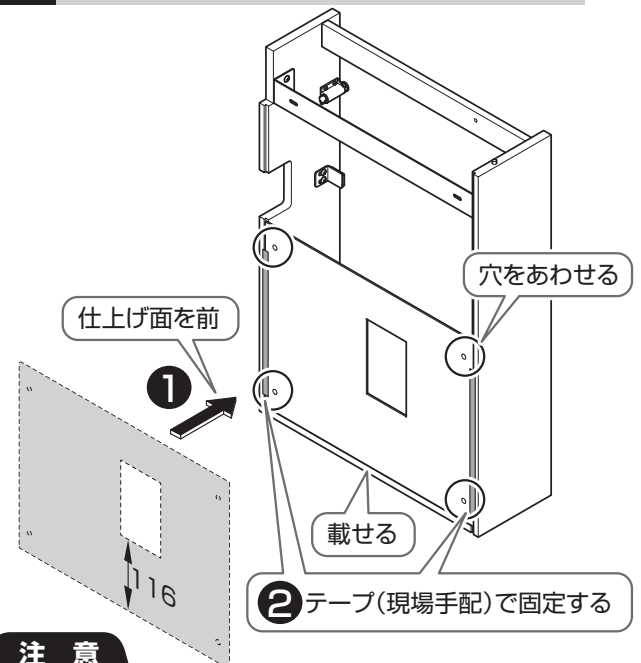


#### ポイント

小型のノコギリを使用すると簡単にあけられます。

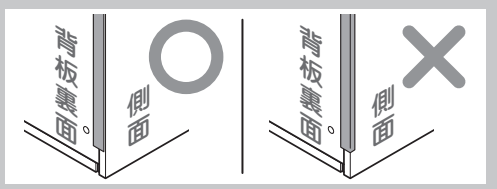


### 5 手洗器キャビネットの取り付け

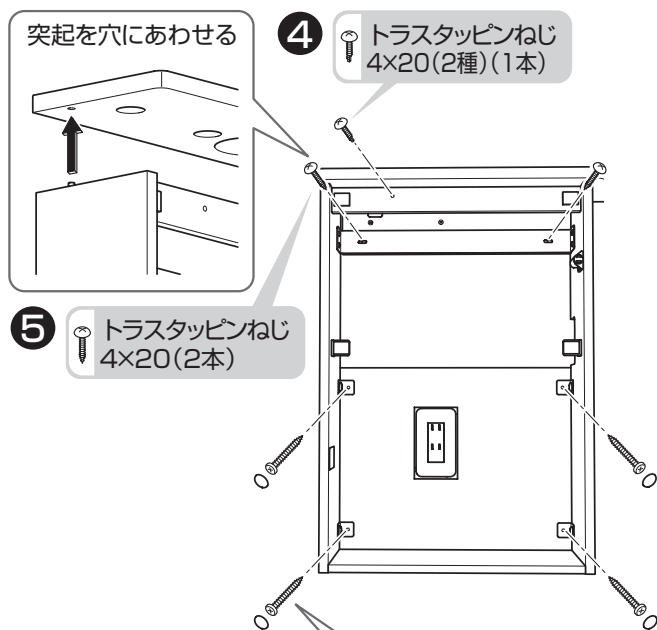


#### 注意

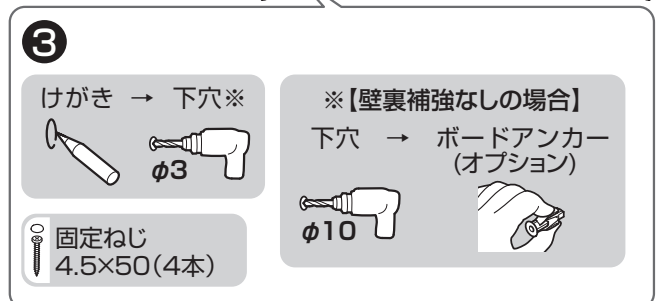
側面にテープがかからないようにする



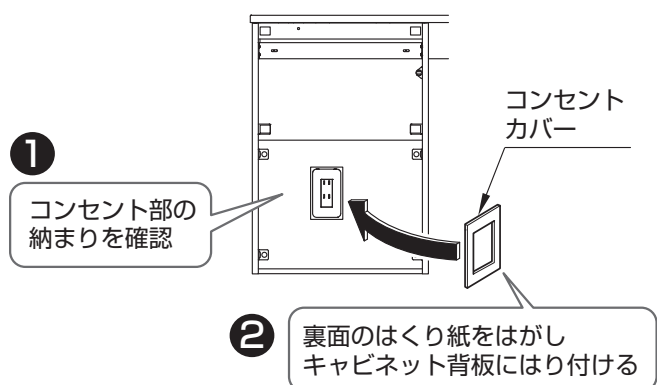




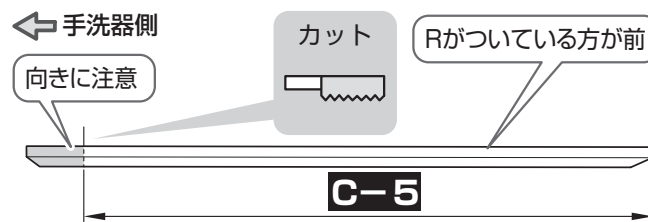
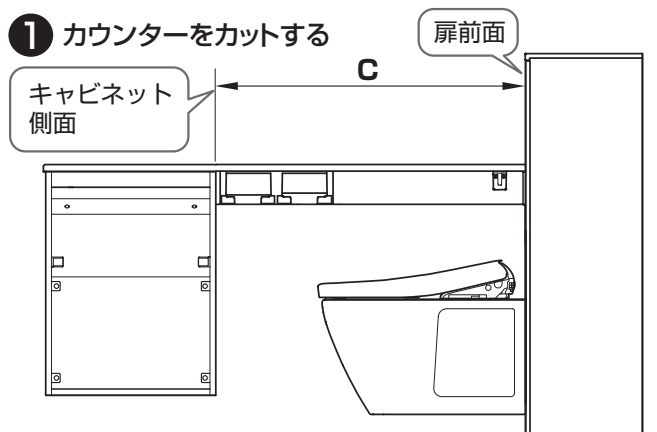
**5** トラストッピンねじ 4×20 (2本)



コンセントがある場合



## 6 下段カウンターのカット



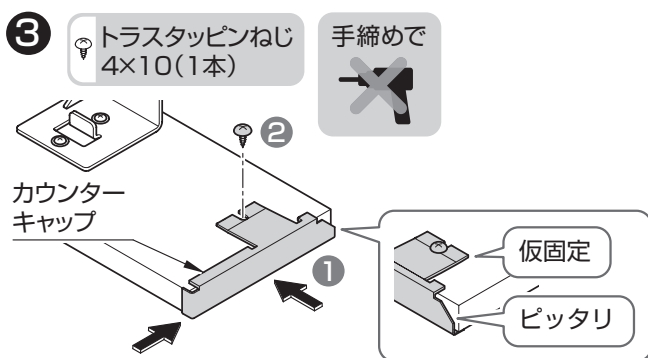
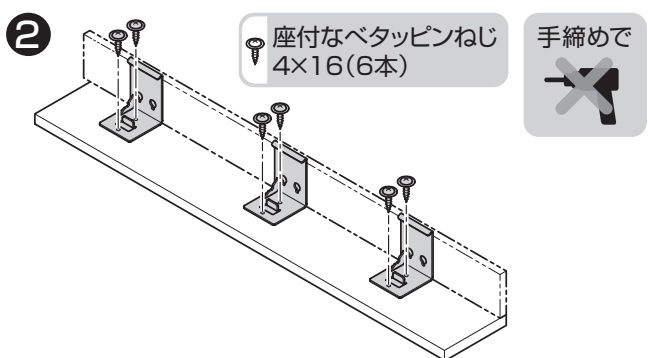
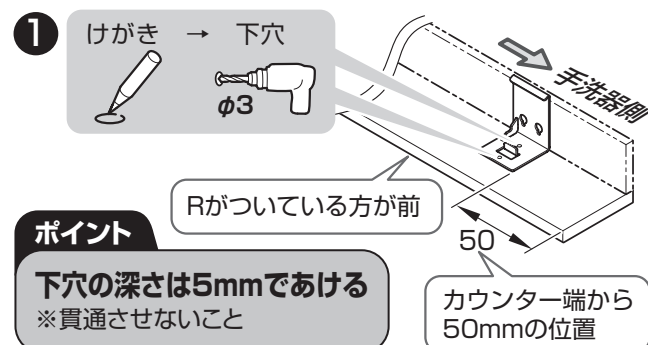
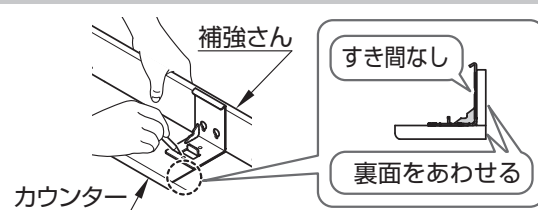
ポイント

表面 (化粧あり) を上にしてカットする

## 7 下段カウンターの部材の取り付け

ポイント

ブラケット類の裏面に下段補強さんをあてがい、けがく



14

手洗器キャビネット・カウンター

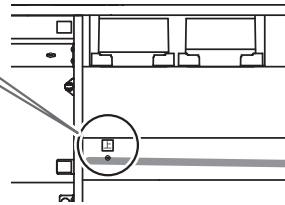
## 8 下段補強さんの取り付け

### 壁裏補強なしの場合

#### 注意

向きに注意!

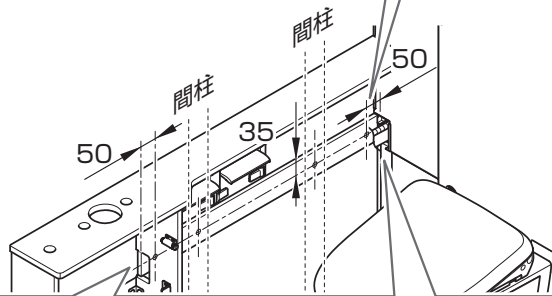
国マークを手洗器側に



② 貫通穴φ5  
(壁にはあけない)

100mm 以下  
間柱用下穴が  
端部から100mm  
以下の場合50mm  
の下穴は不要

間柱



① 仮置き

切欠き部に  
差し込む

奥まで差し込む  
強く押し込まない

下端を当てる

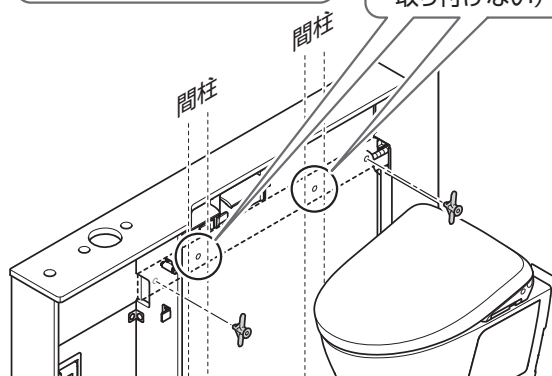


③ けがき → 下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



ねじ取付用: φ3  
両端ボードアンカー用: φ10

間柱にはねじ固定  
(ボードアンカーは  
取り付けない)

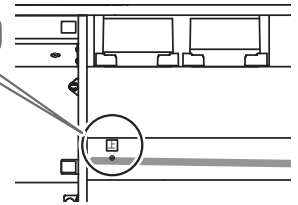


### 壁裏補強ありの場合

#### 注意

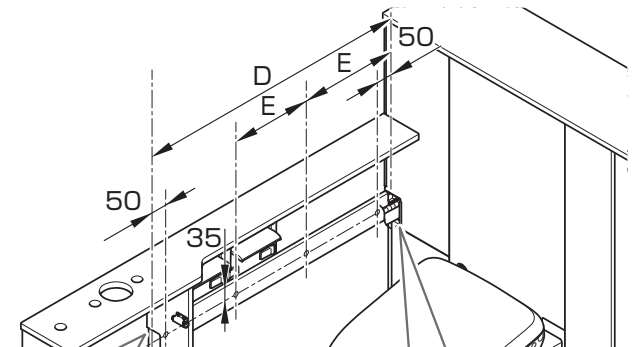
向きに注意!

国マークを手洗器側に



① 貫通穴φ5  
(壁にはあけない)

キャビネット奥行	D寸法	E寸法
256	822	275
320	858	285

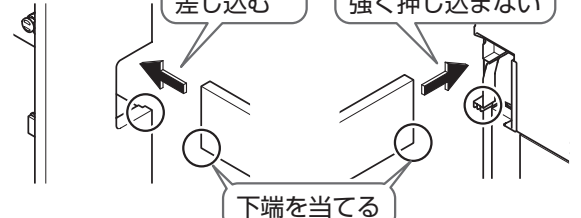


② 仮置き

切欠き部に  
差し込む

奥まで差し込む  
強く押し込まない

下端を当てる

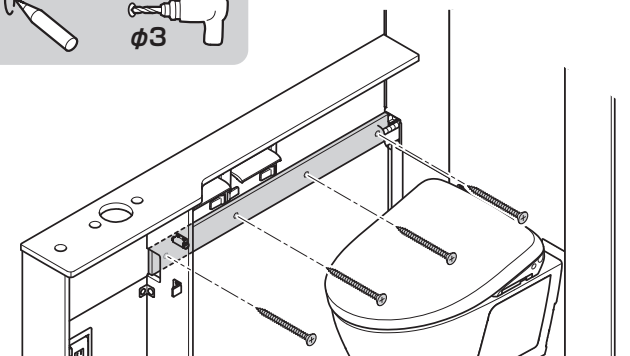


③ 皿タッピンねじ  
4×40(5本)

けがき → 下穴



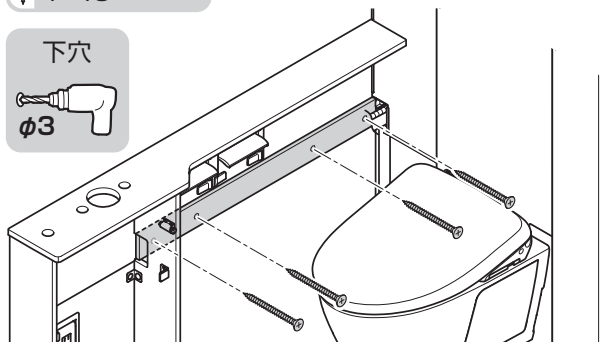
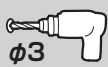
φ3



## 壁裏補強なしの場合

- ④ 皿タッピンねじ 4×40 ※カウンターの長さによって、使用するねじの数異なります。

下穴

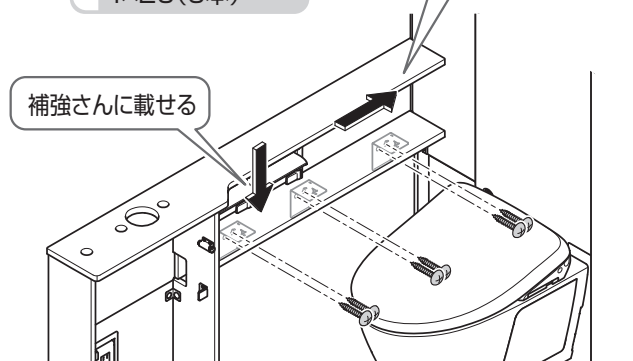


MEMO

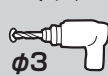
## 9 下段カウンター取り付け

- ① トラスタッピンねじ 4×20 (6本) 固定扉にかいく当てる

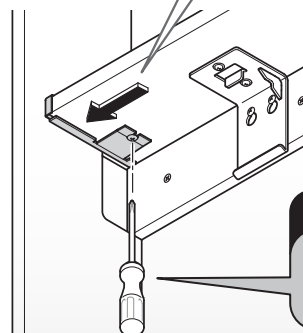
補強さんに載せる



けがき → 下穴



- ②

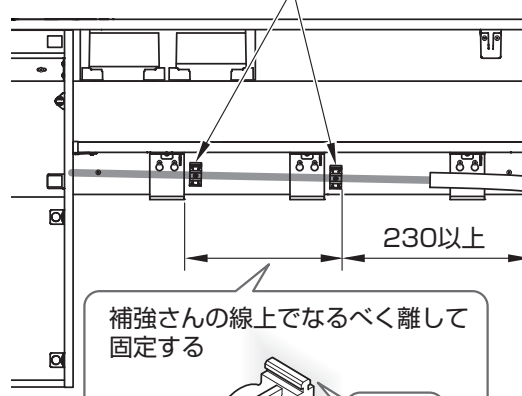
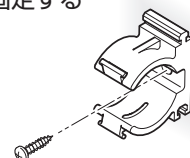
キャップを手洗器  
キャビネットに当てる

ポイント

ドライバーにて  
手締めする

- ③ なべタッピンねじ 4×16 (2本)

配管支持材

補強さんの線上でなるべく離して  
固定する

凸が上

## 手洗器 M サイズ

# 15-M. 手洗器

### 1 排水金具・手洗器固定金具の取り付け

▶ P.62

### 2 手洗器の取り付け

▶ P.62

### 3 水栓金具の取り付け

▶ P.63

### 4 取付穴の下穴あけ

▶ P.63

### 5 配管固定材の固定

▶ P.63

### 6 フレキホース(手洗器用)の接続

▶ P.63

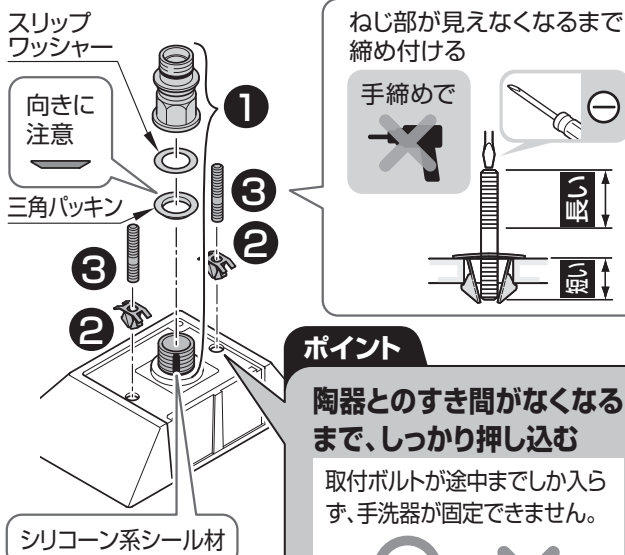
### 7 手洗器排水ホースのカット

▶ P.65

### 8 排水トラップの取り付け

▶ P.66

## 1 排水金具・手洗器固定金具の取り付け



## 注意

<p>禁止</p>	<p>接続管を締め過ぎない 排水金具が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。 (接続管を手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。)</p>
<p>禁止</p>	<p>排水金具に工具などを差し込んで(固定し)、締め付けない 排水金具内の十字部の破損の原因となります。</p>
<p>必ず守る</p>	<p>排水金具ねじ部には、必ずシリコン系シール材を塗布する 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p>

## 2 手洗器の取り付け

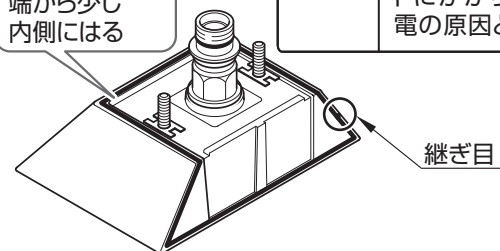
### 1 クッション材の取り付け

はみ出さぬよう  
端から少し  
内側にはる

## 警告

必ず守る

クッション材のはり付けは確実に  
水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

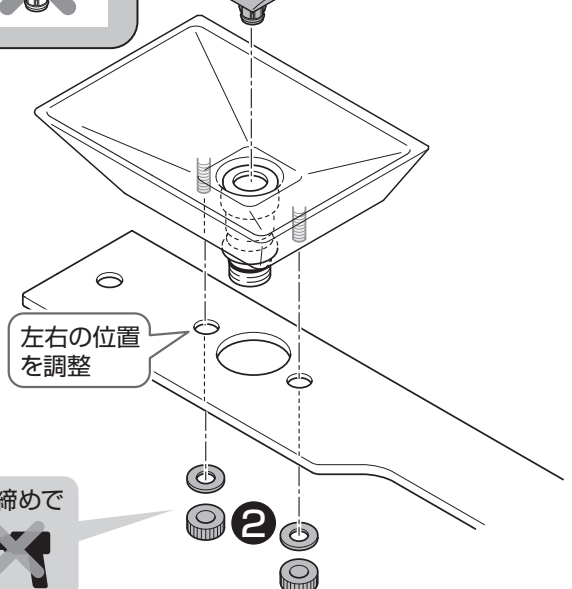


### ポイント 向きに注意



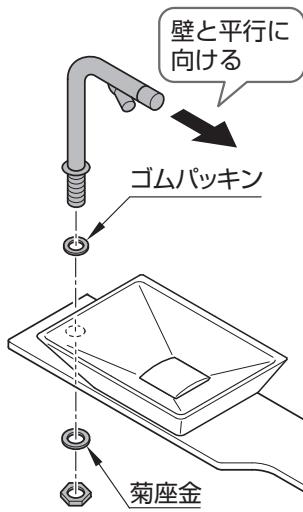
### ポイント しっかりはめ込む

### ポイント 手洗器を壁に押し当てる

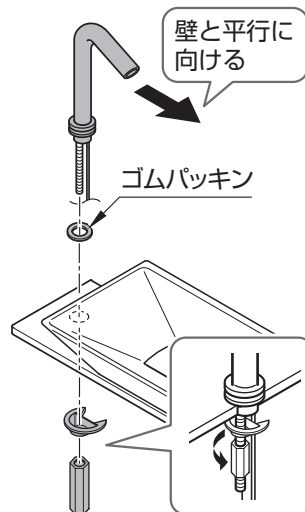


### 3 水栓金具の取り付け

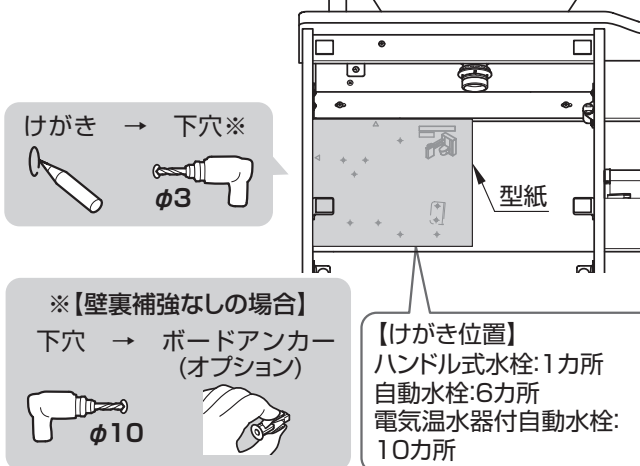
#### ハンドル式水栓



#### 自動水栓



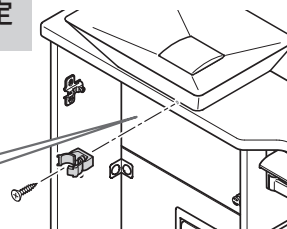
### 4 取付穴の下穴あけ



### 5 配管固定材の固定

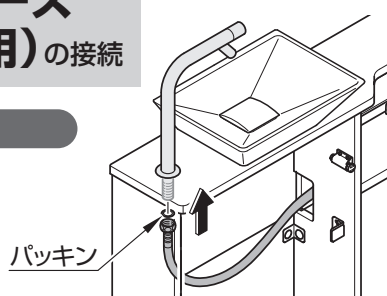
皿タッピンねじ  
4×40(1本)

配管固定材を固定する



### 6 フレキホース (手洗器用) の接続

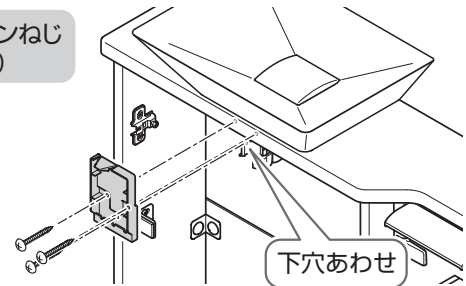
#### ハンドル式水栓



### 自動水栓・電気温水器付自動水栓

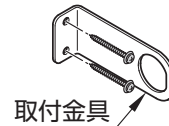
#### 1 コントローラー固定材の取り付け

トラスタッピンねじ  
4×30(3本)



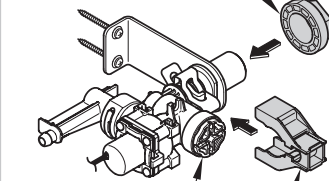
#### 2

座付タッピンねじ  
4.5×38(2本)

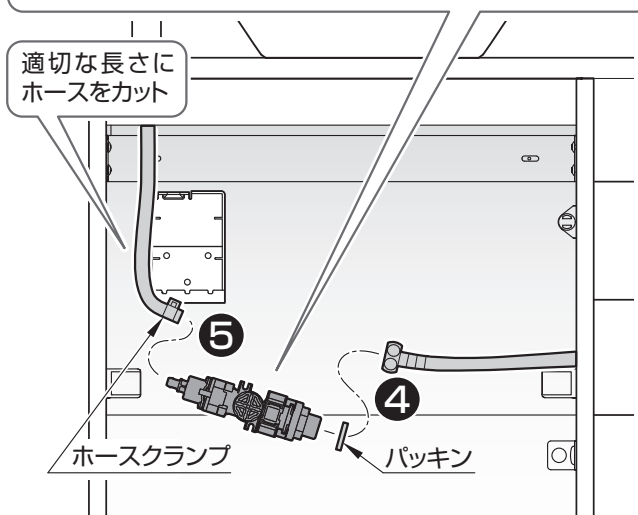


#### 3

つば付きナット



適切な長さに  
ホースをカット



#### 5 スパウト連結ホースの接続

※電気温水器を設置する場合▶次ページ参照

### ! 注意



必ず守る

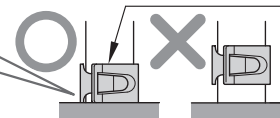
・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする  
・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する  
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

90°

・ホースクランプは所定の位置にくるようにする  
・必ずホースクランプでスパウト連結ホース、排水ホースを固定する

ホースクランプ

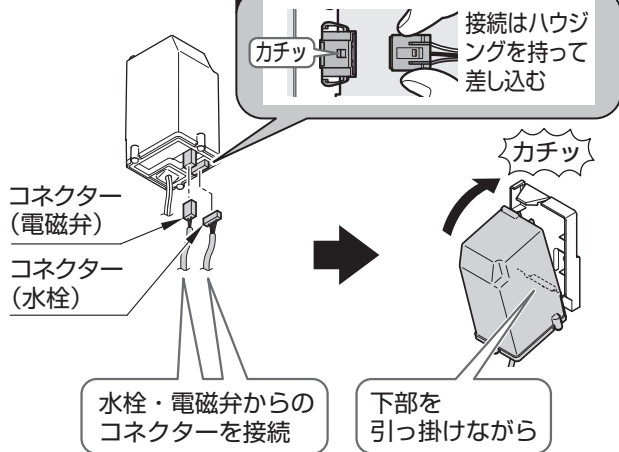
ホースクランプがホース継手の上面に付くこと





⑥

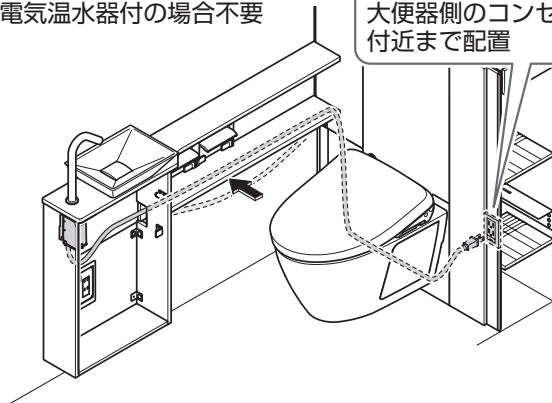
注意



⑦ 電源コード配置

※電気温水器付の場合不要

自動水栓のプラグを  
大便器側のコンセント  
付近まで配置



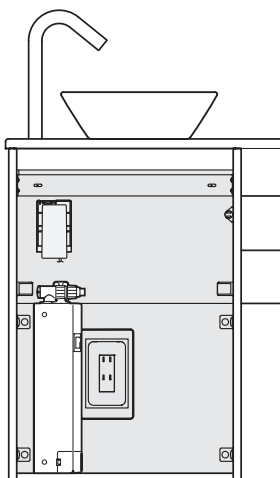
電気温水器付自動水栓

▶電気温水器施工説明書

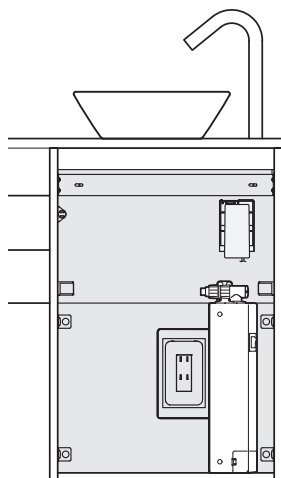
電気温水器取付位置

【左勝手】

【右勝手】



▽床仕上げ面

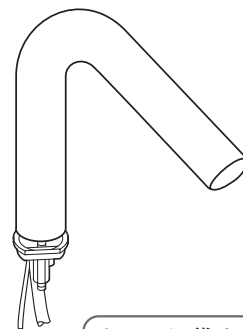
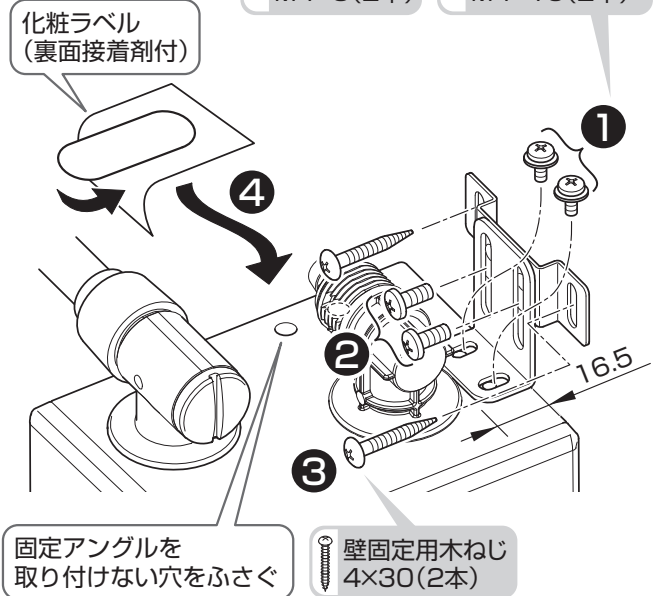


▽床仕上げ面

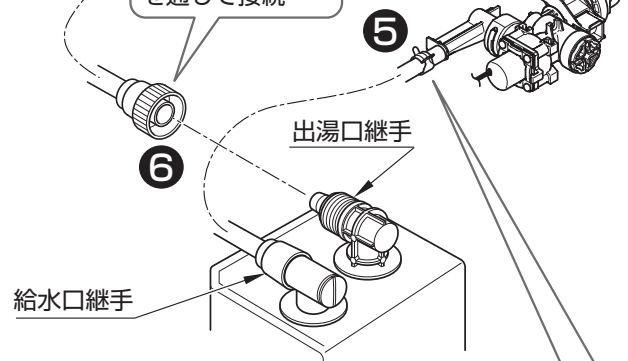
②

スペーサー  
取付用ねじ  
M4×5(2本)

固定アングル用  
座付なべ小ねじ  
M4×10(2本)



ホースに袋ナット  
を通して接続



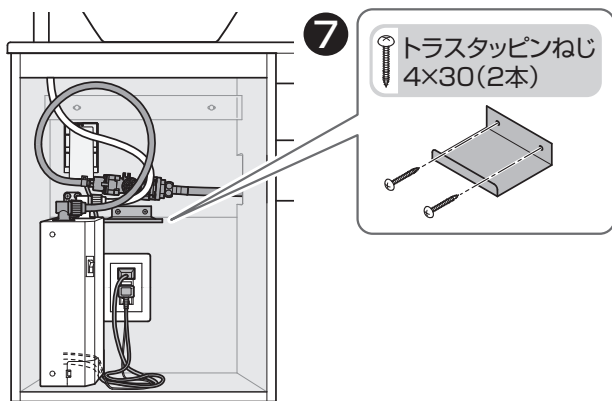
⚠ 注意



必ず守る

- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
  - ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
- 水漏れして家財などをぬらす財産損害  
発生の原因となります。





▽床仕上げ面

## 警告

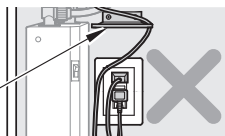
電源コード・アース線は、キャビネットと電気温水器との間や、扉に挟まない  
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードはコンセントプレートカバーの上を通さない  
結露水がコードを伝わりコンセントにかかり、火災や感電のおそれがあります。

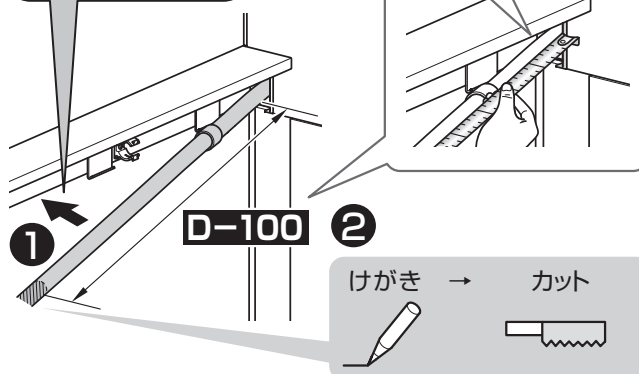
コンセント  
プレートカバー



## ポイント

排水管を壁側に  
寄せてけがく

固定扉キャップに  
当てて測る

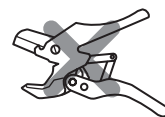


## 注意



必ず守る

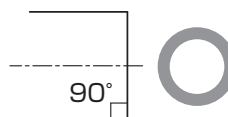
ホースカット時、押切タイプのパイプ  
カッターは使用しない  
ホースの断面が変形し、水漏  
れして家財などをぬらす財産  
損害発生の原因となります。



カット面は滑らかに仕上げる  
お客様の手が触れ、けがをするおそれがあります。

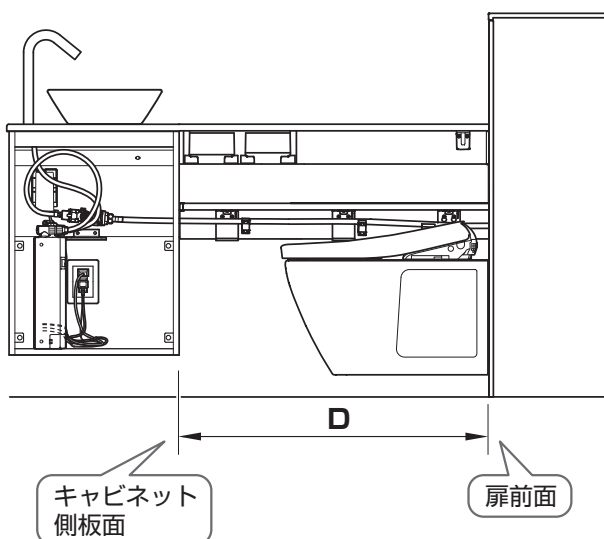
## ポイント

手洗器排水ホースは垂直にカットする



## MEMO

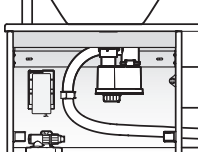
## 7 手洗器排水ホースのカット



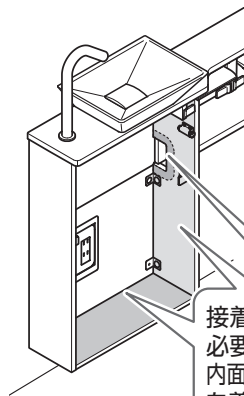
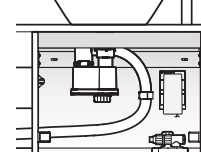
## 8 排水トラップの取り付け

### 取付状態

【左勝手】

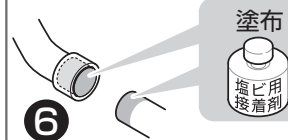


【右勝手】



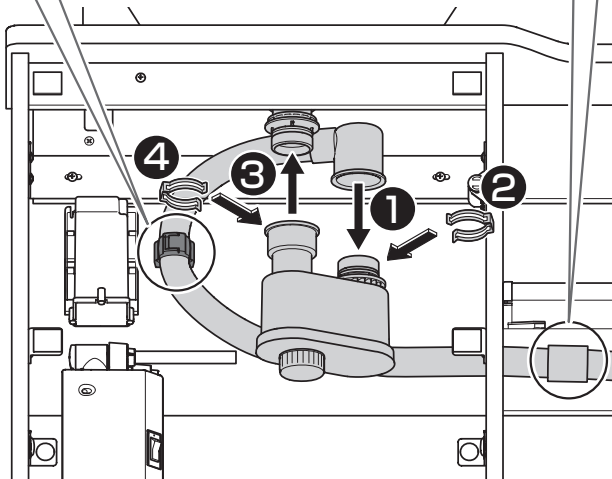
接着剤塗布前、  
必要に応じて、  
内面や開口まわり  
を養生する

⑤ 配管固定材に  
トラップ排水管を通す  
※固定はしない



⑥

塗布  
塩化ビニル  
接着剤



① ③

⚠ 注意



禁止

斜めに差し込まない  
水漏れして家財などを  
ぬらす財産損害発生の  
原因となります。

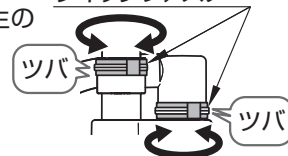


⚠ 注意



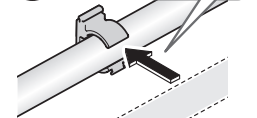
必ず守る

クイックファスナーが正しく固定されて  
いることを確認する  
全周にツバがかかっていることを確認する  
水漏れして家財などを クイックファスナー  
ぬらす財産損害発生の  
原因となります。



⑦

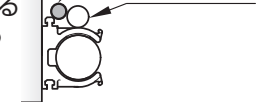
はめ込む



⑧ トラップ排水管を  
配管固定材に固定

⑨ フレキホースを排水管の上に載せ  
インシュロックで固定する  
※自動水栓の電源コードがある  
場合は排水管の上に載せる

電源コード  
フレキホース

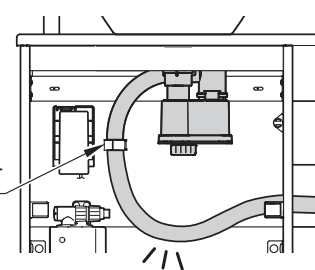


### 逆勾配注意

トラップ排水管がたるまないように固定する  
手洗器から異音発生のおそれがあります。



配管固定材



MEMO